

沖繩通信

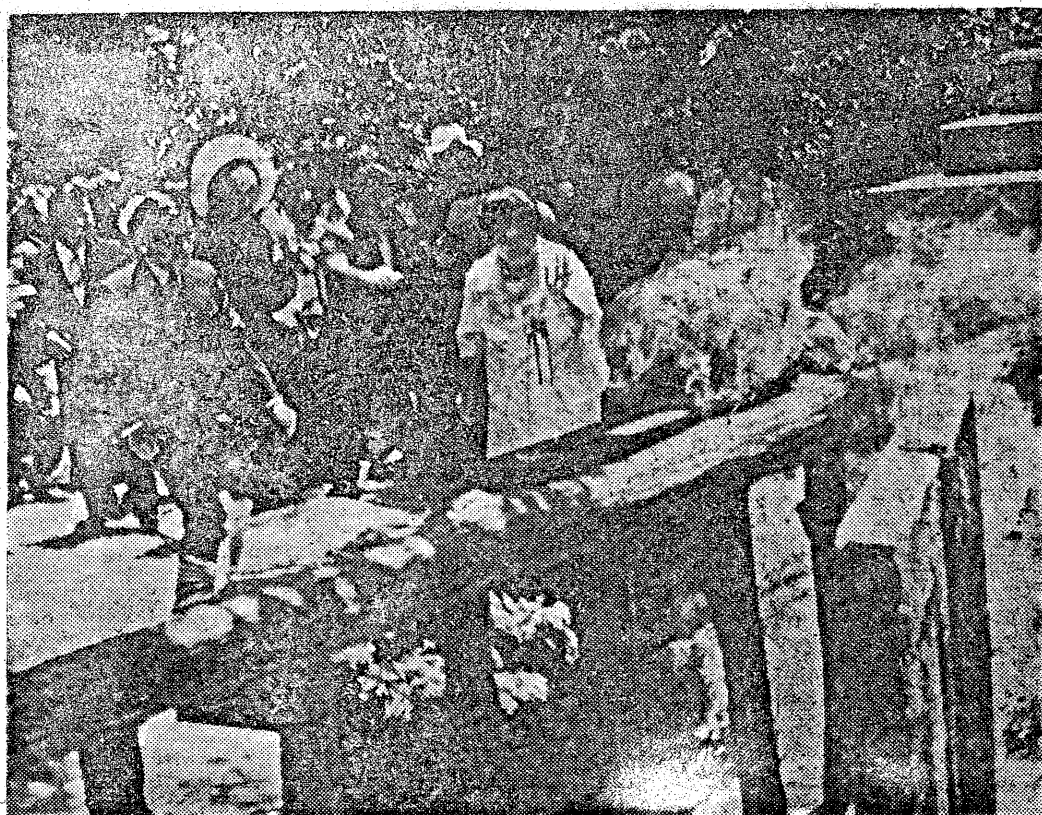


6

沖縄通信

6

発行 沖縄通信編集委員会



火炎ビンがサケ裂、たじろがれる皇太子ご夫妻、
献花直後のできごとだった。(ひめゆりの塔で)

はじめに〈沖縄通信編集委員会〉

巻頭論文——七・二七闘争の望をふみかため、沖縄解放の更なる発展を…………… 3

1 ドギモミノアノ七月の熱い島

- (1) 7月自争の全貌とその波紋(政府・密僚・屋良景政、県庁長等)…………… 11
- (2) 爆発する皇命マキヒト上陸阻止・海洋博粉碎の嵐……………
- (3) 7・17自争のもたらした衝撃と動揺……………
- (4) 沖縄戦の怒りと日帝・天皇制イデオロギーに対する糾弾の点…………… 全琉を席卷…………… 34

2 へ寄稿

沖解同の中央死糾弾に應え天皇制侵略イデオ攻撃爆砕を 本田篤紀…………… 43

3 日米帝の侵略反革命基地——現在の沖縄

- (1) 日米首脳会談、ミュレミニジャー・坂田会談…………… 48
- (2) 沖縄の自衛隊強化・再編強化の在沖米軍・重毒性増す沖縄基地……………
- (3) 進行する沖縄破壊(C・T・S・物価高、パイン、失業等々)……………
- われわれの闘いのスロー・カン…………… 64

4 激しく燃える沖縄の労働運動

- (1) 猛毒六価クロム(全工軍労)…………… 65
- (2) 電通青年労働者の闘い(那覇職場青年会議)・沖縄市助労……………
- (3) 吉嘉教女子学園自争……………

5 資料

- (1) 海洋博粉碎・天皇・皇太子沖縄上陸阻止沖縄「本土」共闘…………… 72
- (2) 沖縄人民救援会……………
- (3) 皇太子沖縄上陸阻止・戦犯天皇糾弾自争を支持する会……………

— 卷頭論文 —

はじめに



沖縄通信編集委員会

全マの兄弟・姉妹達、

七月十七日、ひめゆりの塔、皇太子実力糾弾に次起した、沖縄同の革命戦士と、「本土」の革命戦士の共同斗争は、七二年五・一五「返還」に賭けた日帝アルジョアジーの、沖縄人民への同化政策、差別・分断の排外主義攻勢を打ち破り、沖縄解放が、沖縄人民と「本土」プロレタリア人民の共通の利益であり課題である事を示した。それは奪われた武器をプロレタリア人民の手に取り戻し、侵略の血塗らされた思想「天皇制イデオロギー」の階級的基盤を粉砕し尽くす物質的条件が、我がプロレタリア人民の力によって克ち取られる事の勇気と確信を与えてくれた。

そして、沖縄「本土」人民の内部に深く根づいた「武装せる革命組織」単一の革命党の建設とその指導が不可欠である事を、その過程はいかに困難に見えようとも、確固としたマルクス・レーニン主義に基づき沖縄解放理論と、それを導く沖縄中観の確立こそ「最短にして最良」の手段であり、我々がこの主体的任務をあまりに

も遠ざけて来た根拠が、新左翼潮流に根深く浸透してきた反スタマルクス主義「経済主義」と無関係ではありえず、その克服はブルジョア権力に代わるプロレタリアートの綱領的団結に向けた沖縄「本土」プロレタリア人民の共同の作業によって成し遂げざるを得ない。一点の曇りもなく明示したのである。

この立場に立つならば、我が沖縄通信編集委員の任務は、従来の主観的な情勢分析と任務方針の提起の方法の「コッパルニフスの転換」として、沖縄の政治・経済の科学的分析に基づいた革命的沖縄理論の確立に向けた資料の厳選と、生き生きとした階級斗争の現われの宣伝と煽動に精力を傾注せねばならず、同時に全ての兄弟・姉妹達の支援を抜きにしては貫徹できない事を訴えたい。沖縄通信を、沖縄「本土」の全階級戦線に打ち込み、階級斗争の昂揚・沈滞にあっても、沖縄人民の全ゆる自然発生的な、あるいは目的意識的な闘いを、沖縄解放「プロレタリア解放」の巨大な水路に導き、統合し、排外主義・社会

排外主義との思想的・組織的な死闘を勝ち抜くための確固たる武器に磨きあげる決意を表明する。

序

六・一八摩文仁糾弾斗争を受けた七・一七皇太子実力糾弾斗争は、沖縄「本土」プロレタリア人民に巨大な衝激を与えた。天皇制イデオロギーに対し、武装解除を許してきた「本土」プロレタリアートは（戦後革命の敗北から）、六十年代敗戦帝国主義の復興の過程「日帝の高度経済成長と六十五年の日韓条約をバネとした侵略反革命」他民族抑圧の展開の中で、ベトナム反戦斗争に、国際主義と組織された暴力の思想を吹き込みながら、沖縄解放への着手は遅く、沖縄人民の「祖国復帰運動」から反戦・基地撤去への成長に促されるものとして、ようやく革命的左翼が沖縄斗争を導き始め、七五年目にして、自己の深い腐敗を満天下に曝け出した。

勿論、六一年綱領で米帝からの独立を唱った日共が、

上。同盟の中心は海軍部、農務部、油穀組、原水協指
導部等。油解回（連）の、海洋博粉砕油糧「本土」共闘文
字隊の中心は青年労働者の相次ぐ「皇太子来日反対」の決議
を踏まえて、七・一十国民集会を放棄した後の日相負
任義を批判するもの、皇太子来日抗議三歩を歩むもの、
「皇太子来日反対」の、三木内閣を批判するもの、
三木の「本土」一体化は成した」などの言葉を認めた
ものがある。

しかし、彼らの思想を越えて、油糧人民の怒りを、武
闘をせよと、油糧解放に組織してゆくべきことを確信するロ
ンタニア人民の「本土」一歩を前に、彼ら日相負任
義を批判するもの、皇太子来日抗議三歩を歩むもの、
北前、南部の農協兵の決起を「一歩前進」、油糧「本土
」を脅かすもの、階級闘争を、単一の油糧回建設の正当性
を知りしよ。そして、各産業の労組の進歩的指導者達
が、皇太子来日反対の、七・「指導放棄を批判し、七・
一十国民集会の」の闘争の中心に、革命戦士の準備に

向けた署名・カンパに、皇太子来日反対の中高年層の婦人行働
指導の無言の支持が、七・一十国民集会の証明となった。

そして、このインテリゲンチヤの「一時的決起を、
皇太子来日のメタランによる油糧の背後にあるものを見る
には、」等々の階級主義は、同化思想、理論（屈服して
きたもの）「共闘」の、皇太子来日反対の思想的運動の基礎が
、今や瓦解を遂げた、その端に身をおくべきインテリゲンチヤ
であり、革命的消滅した革命の道は、このことである。

2. 政治的分岐を全労協戦線・農・

漁業の中に打ち込み油糧解放入

油糧労働者階級の海洋博粉砕の中心に、七・一十国民、全
糖行の反社法議を皮切りに、農務部の反社法明を総一
一昨五校、油穀組中（中心）部の、海洋博への巨額の団体費
を反社法議を、七・一十、農務部の皇太子来日反対法
定、七・一自治労の皇太子来日、海洋博反社法議と、東
油への一切の業者拒否、海洋博国連業者拒否の、七・

五着した「共闘隊」の中心は組織的でない。制約の
ない中心は組織的でない。組織的でない部分には、階級
的運動の基礎に、油糧労働者階級の全労協戦線を打ち
込む。一歩を前に、皇太子来日
際に向かう「本土」などの右派要素の導入を軸にして
四十名の機動隊上座で、組織的でない油糧解放に、
朝鮮革命情勢に、油糧労働者の中心に、米帝の野望
と、連社帝の野望を、日共、社民の社会排外主義を暴
キつ、破竹の進撃を遂げた。

この、油糧労働者の革命的発展の端緒の開始を含めて
つても、油糧解放を勝利に導く革命のまた、油糧解放に革命的
激進とも、ロンタニア人民の結合は、一歩を前進的の革命
的であり、我々の思想、煽動・暴露の準備が、この
の。そして、皇太子来日反対の根拠は、目化理論（油糧解
放）の中心に、油糧解放に、油糧解放に、油糧解放
の中心に、油糧労働者階級の階級の深化にあり、我々油
糧解放の主体は、大和への同化志向一現象の攻撃を未

来「各」の「インテリゲンチヤ」思想「や、薩摩の植を、
収縮の思想「中」を、マルクス・レーニン主義の、
油糧解放理論として、インテリゲンチヤを、その思想的
・組織的・政治的階級として、ロンタニア人民が要求して
くるもの。

油糧の失業者は、インテリゲンチヤの中心に、
五歩回二十倍に達している。（七〇年、三三〇名。七一
四〇名。七二五。七三〇名。七三三。七三三。七三三。七
四四。七五〇。七五五。七五五。七五五。七五五。七五五。
・六、この「インテリゲンチヤ」の、皇太子来日反対、
労働運動の解体を招いた皇太子来日反対の、
のな最大である。この「皇太子来日反対」の、
革命の中心に、この系列化、地域産業の創産の中で、皇太子来日
の中心に、この系列化、地域産業の創産の中で、皇太子来日
の中心に、この系列化、地域産業の創産の中で、皇太子来日
の中心に、この系列化、地域産業の創産の中で、皇太子来日

わが国の「其地油糧の経済・政治基礎の根柢的転換を扱
かたじけなく、油糧輸入の未来をありとなくいこころを示して
く。

油糧解放の指導部隊は、長期にわたる米軍政への対抗
の中から、政治的組織的訓練をうけてきた其地労働者や革
命労働者、ナタラ組合結成を主として取つてくる民族
労働者、その中心組織をなすこの輸入の基礎、教育労働者
と革命労働者の革命的改革を通じて、豊・強民を味するに
得する、其地解放の指針を示すはなむ。

油糧解放の勢力は、確鑿に成長してきている。米軍政
「復讐」の中心は、米軍政の対抗を必要とし、油糧女性を打
ち毀して、こまや、女性解放が、油糧解放へのロケットマ
シンの不燃性の一環としてある事を、七・一三に露の目
撃した油糧女性（東京）、油糧連を主として、海洋博一覽を鑑賞
し、油糧三日の中心は、米軍政の「自然」革命戦線」の展開
を必要とし、根柢的の女性差別の根柢の中で、油糧解放
女性解放の思想的強さを打ちつたのである事を、この注目

したてはなむ。

「五」七五番目の中心は、米軍政の戦いをして、新
たな労働戦線への登場に着手して、米軍政の。なむ。

大規模な戦いをして、「解雇撤回・其地解放」の事を
この全軍政の中心は、七五番目の中心は、米軍
雇用制を掲げ、資本家を打倒して、「社会主義的労働者の
なむ」といふこと。海洋博一覽を鑑賞し、油糧三日の中心
は、米軍政の「自然」革命戦線」の展開を必要とし、根柢
的の女性差別の根柢の中で、油糧解放女性解放の思想的強
さを打ちつたのである事を、この注目

共産党の中心は、米軍政の戦いをして、新
たな労働戦線への登場に着手して、米軍政の。なむ。

「五」七五番目の中心は、米軍政の戦いをして、新
たな労働戦線への登場に着手して、米軍政の。なむ。

大規模な戦いをして、「解雇撤回・其地解放」の事を
この全軍政の中心は、七五番目の中心は、米軍
雇用制を掲げ、資本家を打倒して、「社会主義的労働者の
なむ」といふこと。海洋博一覽を鑑賞し、油糧三日の中心
は、米軍政の「自然」革命戦線」の展開を必要とし、根柢
的の女性差別の根柢の中で、油糧解放女性解放の思想的強
さを打ちつたのである事を、この注目

3. 海外で戦いと組む今秋の争い

我々の中心は、米軍政の戦いをして、新
たな労働戦線への登場に着手して、米軍政の。なむ。

油糧三日の中心は、米軍政の「自然」革命戦線」の展開
を必要とし、根柢的の女性差別の根柢の中で、油糧解放
女性解放の思想的強さを打ちつたのである事を、この注目
したてはなむ。

大規模な戦いをして、「解雇撤回・其地解放」の事を
この全軍政の中心は、七五番目の中心は、米軍
雇用制を掲げ、資本家を打倒して、「社会主義的労働者の
なむ」といふこと。海洋博一覽を鑑賞し、油糧三日の中心
は、米軍政の「自然」革命戦線」の展開を必要とし、根柢
的の女性差別の根柢の中で、油糧解放女性解放の思想的強
さを打ちつたのである事を、この注目

2. ドイツメント 七月の熱い島

激闘の七日間——7月30日

七月三日の全貌とその波紋



広がる「皇太子 ご来沖」の波紋

参拝中に火炎ビン

いじめの塔 壕内から二人の男

皇太子と天皇后の来沖阻止を打ち出している一部過激派が、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンを投げつけた。それより先、糸満市内では、皇の列で通る公衆便所が投げつけられるなど、夫妻の戦跡参拝は緊張の連続。過激派の動きがより激化された事象は、いじめの塔参拝は、戦跡に深刻な表情。大戦の悲劇が年々くへる過激派の動きは、皇太子の参拝、三十年の歴史の重みと、その間にかけては余りにも過激な行動が繰り返されている。

十七日午後一時、いじめの塔に参拝した皇太子と天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。いじめの塔参拝の天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。いじめの塔参拝の天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。

7・17 沖総タイムズ 夕刊

糸満白銀 堂前でも 三階エレベータから

皇太子と天皇后の来沖阻止を打ち出している一部過激派が、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。それより先、糸満市内では、皇の列で通る公衆便所が投げつけられるなど、夫妻の戦跡参拝は緊張の連続。過激派の動きがより激化された事象は、いじめの塔参拝は、戦跡に深刻な表情。大戦の悲劇が年々くへる過激派の動きは、皇太子の参拝、三十年の歴史の重みと、その間にかけては余りにも過激な行動が繰り返されている。

いじめの塔参拝の天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。いじめの塔参拝の天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。いじめの塔参拝の天皇后は、いじめの塔参拝の天皇后に火炎ビンが投げつけられた。

羽田空港中心に集会、デモ

過激派 一、二千人が参加

各セクト

本七連博三年後に迎えた神橋博覧会、皇太子の天覧の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

海に近い同博覧会場の十数箇所に、皇太子の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

で、皇太子の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

で、皇太子の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

で、皇太子の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

で、皇太子の防衛に反対する中核、革マル、共産、同、反帝など新左翼各派は、十七日午前八時すぎから、東京羽田空港

7.17 沖縄タイムス 夕刊

“反対派には貸さない”

北部会館、会場使用断る

海洋博討論集会

7.13 沖縄タイムス

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日、名護市で、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を企画したが、管理者の北部市町会（議員知事補佐会長）から、金庫使用を断られた。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日午後、約百人を集めて、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を開催した。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日午後、約百人を集めて、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を開催した。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日午後、約百人を集めて、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を開催した。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日午後、約百人を集めて、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を開催した。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

【名護】海洋博に反対の法団体は十八日午後、約百人を集めて、北部会館で「海洋博を断る討論集会」を開催した。同会館実行委員会「集会の断る公共建築物の使用を断る」との断りを受けた。

交番に火炎ビン

楚辺 過激派グループの犯行?

十六日午後九時十分ごろ、那覇市楚辺三丁目二、那覇警察楚辺派出所

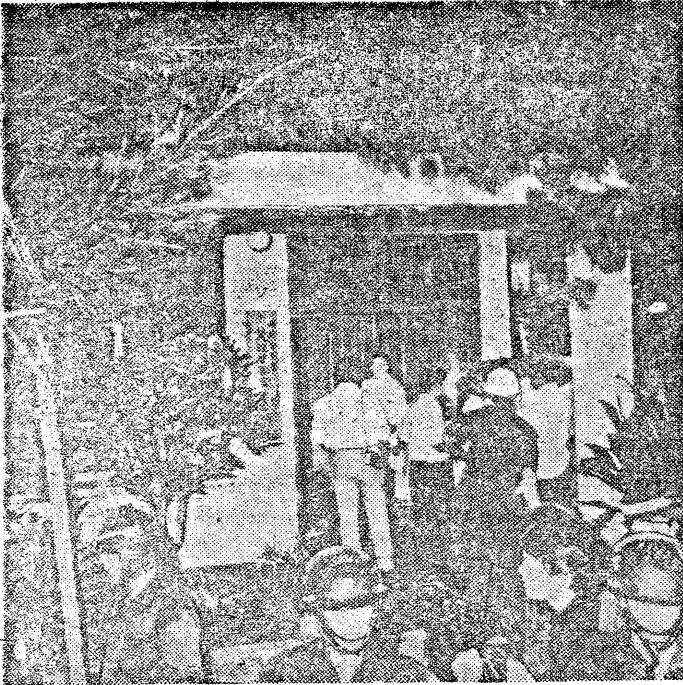
官派出所に火炎ビンが投げ込まれ、内部を焼いた。同派出所で、止の集会とその準備活動が

ル派の海洋博反対、皇太子乗御阻止の準備活動が、止の集会とその準備活動が

た楚辺の楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。

た楚辺の楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。

た楚辺の楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。楚辺、大朝の機動隊約三百人が現場に急行したが、過激派は逃げた。



火炎ビンが投げ込まれた楚辺派出所



7.17 沖縄タイムス

同警本部の公安捜査隊が現場に到着し、現場検証を行った。現場には火炎ビンが投げ込まれ、派出所の内部を焼いた。同派出所で、止の集会とその準備活動が

同警本部の公安捜査隊が現場に到着し、現場検証を行った。現場には火炎ビンが投げ込まれ、派出所の内部を焼いた。同派出所で、止の集会とその準備活動が

戦後30年 複雑な県民の心

デモ申請は十二団体 県警 コースに条件つけ許可

「皇太子来沖反対」を叫ぶ新左派、不許可にすることはできない。このため県警は道交法をタテに取り一部を許可した。十二団体。うち十日夕刻までに県警から許可が出たのは沖解放同盟、中核派、革マル派の三団体、四集会。残った九団体のデモ申請については県警の方針でデモコース。時間があまわらないため、調整中だ。県警は「皇太子陛下のパレードの通過コース、おまひ時間帯にかならずデモを認めない」としている。沖解放同盟は他府県にある公安条例がなく、頭をなげデモを打出ししていたが、十六日夜に入って調整中だったデモ申請団体の話し合いがまとまった。その結果、県警の方針通り「山下交差点でデモを打ち切り、空港へは行かない」という条件で許可がおりた。なお、沖解放同盟の現地共闘は申請を取り下げた。

十七日にデモ申請している団体は次の通り。

- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。
- △沖解放同盟 午前八時から午前十一時の間、糸満から県庁前までデモ予定、許可されている。

会場でビラをまく

沖解同など押しかける

海洋博が一般公開された二十日、沖解同など押しかける。会場周辺でデモする。沖解放同盟は、皇太子来沖反対を叫ぶ新左派の活動家約百八十人、十八日午後六時四十分から会場周辺の埋め立て地で集会を開いた。その後、三行進に繰り出した。五人の男が公務執行妨害の現行犯で原警備本部に逮捕された。五人とも完全無罪で放り、身はわかっている。

「皇太子来沖反対、海洋博反対」を叫ぶ新左派の活動家約百八十人、十八日午後六時四十分から会場周辺の埋め立て地で集会を開いた。その後、三行進に繰り出した。五人の男が公務執行妨害の現行犯で原警備本部に逮捕された。五人とも完全無罪で放り、身はわかっている。

会場周辺で反対集会

ものものしい警備の中で

「皇太子来沖反対、海洋博反対」を叫ぶ新左派の活動家約百八十人、十八日午後六時四十分から会場周辺の埋め立て地で集会を開いた。その後、三行進に繰り出した。五人の男が公務執行妨害の現行犯で原警備本部に逮捕された。五人とも完全無罪で放り、身はわかっている。

「皇太子来沖反対、海洋博反対」を叫ぶ新左派の活動家約百八十人、十八日午後六時四十分から会場周辺の埋め立て地で集会を開いた。その後、三行進に繰り出した。五人の男が公務執行妨害の現行犯で原警備本部に逮捕された。五人とも完全無罪で放り、身はわかっている。

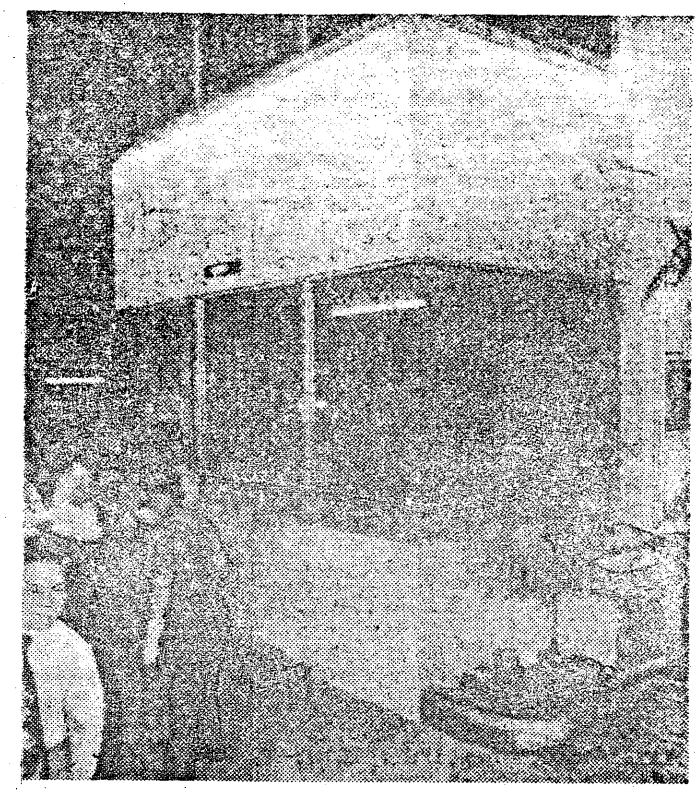


海洋博粉砕を叫んで会場周辺をデモする沖解同のメンバー

火炎びん 東京で二カ所

交番の警官大やけど

7.24 朝日



二十三日夕、東京都港区の警官署の門派出所に若い男が火炎びんを投げ込み、警官一人が顔などに大やけどをした。男は逃走したが、同時刻の五右衛門は離れたシエトロ、日本郵便局の便所でも白煙とともに警官一人のよきな容疑が燃え上がった。

警視庁公安部の警官、赤坂四番で調べているが、両事件はほぼ同時刻に発生、現場も近い。シエトロが昨年油断油断博覧会館を新設して以来、このあたり「油断油断博覧会」を叫ぶ過激派が同時多発的なゲリラ行動に出たのではなかかとみている。

同日午後六時四十五分、港区の火炎びんを投げ込まれた虎の門派出所（平日午後七時五分、東京都港区虎ノ門二丁目）

虎ノ門八、警官署の門派出所に若い男が火炎びん一本を投げ込んだ。火炎びんは窓ガラスを破って向派出所で燃え上がった。火はすぐ消し止められたが、中にいた三人の警官のうち内久巡査（三十三）は二、三月の大けがをした。目撃者の話では男は洋酒びんのような火炎びんに火をつけ派出所の裏側から投げ込んだらしい。

男は人ごみにまぎれ文部省方向へ逃げ、現場近くにいたタクシー運転手水野光夫（三十三）が同派出所の巡査一人を乗せて追跡したが見失った。警視庁は緊急配備をして現場一帯を調べているが、男は二十四、五歳、タリンのTシャツ、黒い短パン、身長一六五センチ、長髪で学生風。

事件の起きたとき、同派出所では室内巡査は派出所内の机に向か

って事務をとっており、ほかの二人の巡査が入り口、男は走りこめていた。現場は文部省の大蔵官などのある官庁街のはずれで、近くに警官ビルもある。犯人は今方人ごみにまぎれて逃げまわき、火炎びんを投げたらしい。

また同時刻の、虎の門派出所から約五百メートル離れた赤坂四番の二丁目、共同通信ビル七階にあるシエトロの中央便所にシエトロの農水産部で残業していた職員が行った。入り口のわきの大扉所から白い煙が出ているのをうかがった。ドアを開けたところ、黒い煙が立ち上り、警官一人の容疑が燃え上がった。火は同時に一階にある警備員室の火災報知機が鳴り大騒ぎになった。職員五、六人がかけつけ、消火器を使い、約五分後に消し止めた。

同じビルは九階建ての雑居ビルで、一階に東京警備隊の支店、二、三階に新東京国際空港建設、四、五階に共同通信、六階以上はシエトロが使用している。火災の発生に伴って、同ビルは一時閉鎖された。シエトロの油断油断博覧会館があり、犯人はこれをねらって攻撃を仕掛けたのではなからとみられる。

7.23 沖繩タイムス 夕刊

チリ海軍帆船などに

火炎びん

海洋博会場に 過激派が侵入

モーターボートで 未明警備の虚衝く

「極めて高い殺傷能力」 後藤使用の手製爆弾

事件が起つたのは同日午前四時、エキスボートのチリ海軍練習艦「エクスボート」(三三、千八百ト)と「エクスボート」(三三、千七百ト)とが、海洋博会場のはずれ、海浜公園の一角「水の階段」の階段レストランのトイレ。関係者の話を総合すると、ほとんど同時刻で、火炎びんが火を噴いた模様で、かなりの人数がこの行動に加わったと見られている。エキスボートでは、まず停泊中の「エクスボート」では前部甲板上で突然火炎びんがくわくとして炎上。乗組員二人が重傷を負い、そのうち一人は足首に一月の大やけど。船医の手当てを受けた後、病院に運ばれた。ほとんど同時刻で、近くを巡航中の協会警備艇「はくま」と「守礼」(五十八ト)艇上でも火炎びんがくわく、ブリッジ前部を燃焼けし、各船とも乗組員の消火で鎮

火。一方では、これもほとんど同時刻で、「水の階段」男子用トイレが燃かれた。

この騒ぎで海上では、警備中の「エクスボート」(エキスボート)がボートに急行、付近海上の捜索にあたった。その結果、現場から南方向に疾走中の二人乗りのモーターボート二隻を発見、追跡した。しかし、時やみの海上で見失った。協会警備艇、県警会場警備艇をのりて渡久地警備艇と二人乗りの捜索活動が展開された。その結果、同日午前六時過ぎ、事件海域から約三、四キロある渡久地新港北側パース、警備艇のカバーで覆われた長方形のボート二隻の乗組員モーターボート(二十五馬力)を発見、調べたところ同艇には、カソリンの入った一升びん二本、洋酒びんを作った火炎びん四本、カソリンだけの洋

酒びん二本、茶色のシヨルターバッグ一個を見つけた。事件に関わりがあるとして渡久地警備艇が押取。その後、同六時五十分ごろ、渡久地新港で海洋博会場場向けバス持ちをしていた数人の人たちの間にすくぬれの男を発見、身元を尋ねたところ、黙秘で要領を得ず、協会警備艇、警察では、事件に關係があるとして渡久地警備艇に連行、取り調べ中。

非常にシヨック

屋良知事

屋良知事は、期会後のテレビニュースで事件を知った。「ええ、命は命だが」と急いで背後で警備艇を飛ばす。

「非常なシヨックを受けている。早く、警備艇に事情を聞いてみたい。会場は警備が非常に厳格なので、警備艇でさき手探しのないところを探してあげたのですか」と、屋良知事の言葉は少くもその、言葉も感動される。

沖繩航路客船に発煙筒

神戸 海洋博反対のいやがらせ?

【神戸】十八日午後五時、神戸市市田区、神戸港中突堤沖繩航路客船で、神戸市市田区止場町二、大島運輸の客船神戸丸四九〇〇〇、石井佐輔船長（五十八）乗組員が出港後、第三デッキをけり中央部にある男女共用便所、第三デッキと第二デッキをくわく階段の二万所で、発煙筒のいもから発煙筒が出てくるのを乗客が見つけた。

乗組員と乗客が消火活動に当たったが、階段付近の煙が濃くなり、乗客は逃げ遅れた。同船には沖繩運輸船客約千二百二十人が乗船していたが、けり人はなかった。

神戸海上保安部と神戸水警の調べで、階段のいもには発煙筒が設置されていると見られるが、乗客が逃げ遅れたのは発煙筒が設置された船艙の煙が約二十万立方尺、黒煙が約四十万立方尺の十八番ある煙が煙が燃え尽きた後に入り込んできた。一時煙が充満した。

同保安部などは、発煙筒が設置された船艙の煙が約二十万立方尺、黒煙が約四十万立方尺の十八番ある煙が煙が燃え尽きた後に入り込んできた。一時煙が充満した。

九時に那覇港に着く予定で、定員千四百人の九〇%の乗客が乗っていたが、そのほとんどが海洋博初日の見物客。同船はこの朝の日の出港が、大きく遅れた。

7.19 琉球新報

県庁で「爆弾」騒ぎ

約二千人の職員が避難

【神戸】十九日早朝、札幌市の北海道警察本部警備課で時限爆弾に当たると思われる爆発があり、警備員四人が顔面に重傷を負った。パチンコ玉も爆発の中心が見つかると、同本部は爆弾が海派などに投げつけられたと推測し、本部警備課で時限爆弾事件捜査本部（本部長・田中雄一、副部長・部長）を設置、捜査員五百人を動員した。

【札幌】十九日早朝、札幌市の北海道警察本部警備課で時限爆弾に当たると思われる爆発があり、警備員四人が顔面に重傷を負った。パチンコ玉も爆発の中心が見つかると、同本部は爆弾が海派などに投げつけられたと推測し、本部警備課で時限爆弾事件捜査本部（本部長・田中雄一、副部長・部長）を設置、捜査員五百人を動員した。

【札幌】十九日早朝、札幌市の北海道警察本部警備課で時限爆弾に当たると思われる爆発があり、警備員四人が顔面に重傷を負った。パチンコ玉も爆発の中心が見つかると、同本部は爆弾が海派などに投げつけられたと推測し、本部警備課で時限爆弾事件捜査本部（本部長・田中雄一、副部長・部長）を設置、捜査員五百人を動員した。

【札幌】十九日早朝、札幌市の北海道警察本部警備課で時限爆弾に当たると思われる爆発があり、警備員四人が顔面に重傷を負った。パチンコ玉も爆発の中心が見つかると、同本部は爆弾が海派などに投げつけられたと推測し、本部警備課で時限爆弾事件捜査本部（本部長・田中雄一、副部長・部長）を設置、捜査員五百人を動員した。

(3) 7.17 皇室のもたらした衝撃と動揺

嚴重に警戒体制へ

【東京】海洋博出席のため沖繩訪問中の皇太子夫妻が、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

県連も県に十分な措置を要望

【那覇】那覇市に火災警報を投じられた。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

沖繩訪問の印象など語られる

【那覇】皇太子夫妻の那覇訪問の印象など語られる。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

皇太子お一人の会見

【那覇】皇太子夫妻の那覇訪問の印象など語られる。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

7.18 沖繩タイムス

【那覇】皇太子夫妻の那覇訪問の印象など語られる。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

8.27 琉球新報

【那覇】皇太子夫妻の那覇訪問の印象など語られる。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

「ご日程変更ありえず」

宮内庁冷静に受け止める

皇太子夫妻の那覇訪問の日程変更について、宮内庁は冷静に受け止める。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

厳正な処理を要望

皇太子夫妻の那覇訪問の日程変更について、宮内庁は厳正な処理を要望する。皇太子夫妻は、十七日の夜、那覇市に火災警報を投じられた。

皇太子の訪沖阻止すまい

屋良知事 レイン米國特使に語る

皇太子ご夫妻

静かに迎えよう

那覇市長 市民に協力呼びかけ

レイン米國海軍特使は、九日午前、屋良知事を表敬訪問した。席上知事は、同特使に対して「沖縄は日本の領土として、特別な事情があつて皇太子殿下の訪沖を反対する動きもある。しかし、実際には一般組合組織による阻止行動は起らないと思つてゐる。私どもは皇太子殿下の訪沖を歓迎する国民代表として、皇太子殿下の訪沖を歓迎する」と述べた。

文化、自然、地理的位置は日本、韓国、香港、タイ、フィリピン、太平洋地域を結ぶ観光のハブとなる。米國と米國との海軍基地の沖縄の観光産業の発展に關心を抱いており、側面から協力したいと思つた。

7.9 琉球新報

7.11 沖縄タイムスタ刊

皇太子ご夫妻の来沖に対して力を呼びかけた。平良市長は「那覇市として歓迎の機運を醸成するが、各小中学校の児童、生徒を動員して市民を沿道に並べての歓迎はしない。皇太子は、海洋博の名譽勲章として、是非、開会式に出席しなればならない立場にある」と述べた。

市民としては、事を荒立てずから歓迎するのが礼儀である」と述べた。

不祥事件にシヨック

屋良知事

屋良知事と八木直行啓主務官（東京府知事）は、十七日午後九時二十五分、ハーバービルホテルで記者会見、火災ひん事件に対する皇太子殿下のお考え、沖縄の印象、ご夫妻の来沖に関する屋良知事の見解について語った。記者会見の冒頭、八木行啓主務官は、皇太子殿下が皇宮に召せられたお話を語られた。

八木行啓主務官 面談では、沖縄県に催される海洋博の出発のため、念願だった沖縄を訪問された。日程は、一、二のハンニンがあり、時間の変動があつたが、面談ではお疲れの様子もなく、元氣でホテルにお話された。屋良知事 このたびの面談のご依頼については、海洋博の開催に際して、開会式典に出

席をわけてお話を聞いてもらい準備を整えてお迎えした。今日（十七日）は予定通り到着され、飛行場からホテルまで多くの人が歓迎した。面談では皇太子殿下は、心から歓迎された。皇太子殿下は、心から歓迎された。皇太子殿下は、心から歓迎された。

平和に対する認識を新たに 共産党県委員会・仲松隆全議長 局長、すでに海洋博についての覚見解でも明らかにしたように、科学、技術、文化の一定の達成物の

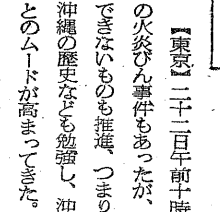
7.9 沖縄タイムス 国際交流だ。意識ある博覧会の催しには積極的な態度をとる必要があると考へている。しかし、今回の海洋博の開催は、その準備過程から県民の意思を無視し、大本営の利益を中心とする。その結果、沖縄経済の県民生活に深刻な影響を与えている。現実に開催される現状、緊急にその諸問題を解決すべきである。これは海洋博による県民生活への被害の防止対策の強化であり、またこれを機会に内外に沖縄茶業基地のインフラ整備の推進、自衛隊基地強化の推進、県が主体的にインフラ、平和に資する設備を新たに整備する。県利用については、県民の生活に資する民間的の整備を推進して

沖縄施策見直し

閣議

本土の沖縄化必要

物価、博後対策に本腰



三木首相

【東京】二十二年午前十時から開かれた閣議は、海洋博開会式に三木首相ら十三人の閣僚が出席するため訪沖したとあつて、沖縄問題、火災ひん事件もあつたが、閣議が温か皇太子ご夫妻をお迎えしたことに好感を寄せていたが、各閣僚からの格差是正に力を入れる必要があるが、沖縄でなければならぬ。本土の者は、もっと沖縄の歴史なども勉強し、沖縄の人々の心を理解すべきだ。短期間の滞在だったが、一心沖縄現地を見直し、強化しようとのムードが高まってきた。



三木首相

この閣議では、まず、皇太子ご夫妻の訪沖に随行した榎本総務長官（沖縄開発庁長官）が、皇太子ご訪沖について報告「火災ひん事件もあつたが、県民は温かく迎えた。皇太子殿下も例のない県民のおもてなしにお出でなされた。が本土側と沖縄の一体化の上から、同じ悩みを持つている。また、物価問題も力を入れなければならぬ」と発言。飯谷建設相は「海洋博後、野放し状態に力を入れる必要がある。サトウキビ、パイナップルなどに依存してはいけぬ」と語り、永井文相は「第二次産業も振興すべきではないか」とそれぞれ、短期間の訪沖日程でみた沖縄について意見を述べた。

最後に榎本長官が「第二次産業について、沖縄の振興開発について各界の協力を求めたいが、とくに大

応援警備隊が沖縄入り

30都府県に応援警官要請

県公安委員会

へり、装甲車も出動

公安委員会は、三日午前十時から開かれた定例会で海洋博開催前後の警備に二千四百人の警察官の応援要請を決め、同日午後、三十都府県の公安委員会に正式に要請した。県警は独自に一千三百人を充てることとしており、開催前後の警備に出動する警察官は三千七百人のほり、県警はこれまで以来の最大の警備態勢が取られることになる。復帰時の通貨交換時に他府県から六百人の警察官の応援を求めた例はあるが、海洋博開催時の警備はそれ以上の規模となる。極左の十一セクトが皇太子夫妻の来沖阻止闘争を決定、そのうち六セクト約五百人が逮捕覚悟の現地闘争を決定している、と伝えられる中で海洋博に臨席する三十六万の要人の警備、警護に万全を期すためである。また、ヘリコプター機はじめ装甲車や警備車両約百七十台の装備器材も持ち込まれる。

臨戦体制の警備陣

応援部隊の第一陣着く

海洋博開催にあたり五日、皇太子夫妻の来沖をめぐる書面論争を収束して那覇空港、港の空今時は、各々のシヤツカメム「アツ」は縁境へ、むしろ異様ななやみ開気を醸している。警備隊は昨日（四日）に那覇空港、シヤツカメムを搬入、一旦、刑事とわかる警察官の姿が目立ち、警備十一人の空港派出所は機動隊員十六人を加えターミナル内の要所々々、警備隊を配置した。那覇港は昨日（四日）、本島から機動隊員、装甲車などが、警備隊員を搬入して、警備体制を整えている。

異様な心ん團氣漂



海洋博警備、警護の応援で大学来沖した隊員ら（那覇港Fパス）

▼：那覇空港

那覇空港付近は、まるで臨戦体制の表れがびたり。警備隊の装甲車は常に国内線ターミナルに待機、私服の機動隊員が連発したあへせを駆け回り回っている。ターミナル内には、送迎ロビーに警備隊員を待たせ、警備隊の姿が一般送迎人を威嚇、手荷物を受け取りのロビーに出てくる客の一人、一人に警備、シヤツカメムを抱えた機動隊員が四人が銃口を向け、また、また、戒厳令下の空港。

那覇空港警備隊は昨日、皇太子夫妻、三木首相一行の来沖について手配、警備の検閲を厳重に行っている。同警備隊は、一時間おきの空港内パトロールを三十分おきに強化し、水もあらため、非常体制で臨んでいる。警備隊から同空港事務所に対し、皇太子夫妻乗車日は「国内線ターミナルの駐車場から一切の車両を締め出すように」との連絡もあった。これは同空港事務所が拒否したといわれる。

▼：那覇港

十四日午後、那覇西の那覇港に、海洋博警備の応援部隊第一陣七百十九人の警備隊員、装甲車十八台が着いた。

同日午後五時半、那覇空港のターミナルで、九州警察管区から機動隊員二箇中隊三百五十二人と警備車十台、資材車五台、装甲車一台を、隊員は全員リュックとした警備隊とラップを降り、荷役作業員の目撃された。警備の連絡班の案内で、約一時間後、石川市の県警察学校に到着、十五日からの海洋博警備、皇太子夫妻の警備、警護に備え、現地視察を要す。

また、時間後には那覇空港で中隊、四箇中隊（連）の各警備隊から機動隊員三百八十七人が来港した。十五日には那覇空港から頭チャーター船で警備隊員が四百八十八人、車両六十六台。また、那覇、中隊、近畿の各警察管区から機動隊員十余の機動隊員と車両四十台が来港した。これで那覇空港に二千四百人の警備隊員が到着した。警備隊員は、警備隊員は、警備体制を整える。

警備車両など 18台持ち込む

戦作討掃大ゲリ

109人編成の遊撃隊

公安捜査隊の発足へ

今回、沖縄入りした本土の行衛班の中に一連の企業爆破事件のオオノミツルノを巡っていた、ステランも交じっている。彼らはこれら赤軍派、中核派、マル派、黒マルグループ等、

下の公来沖する十七日までに沖縄に送り込む準備を進めている。過激派各セクトは、

音もなく任務へ

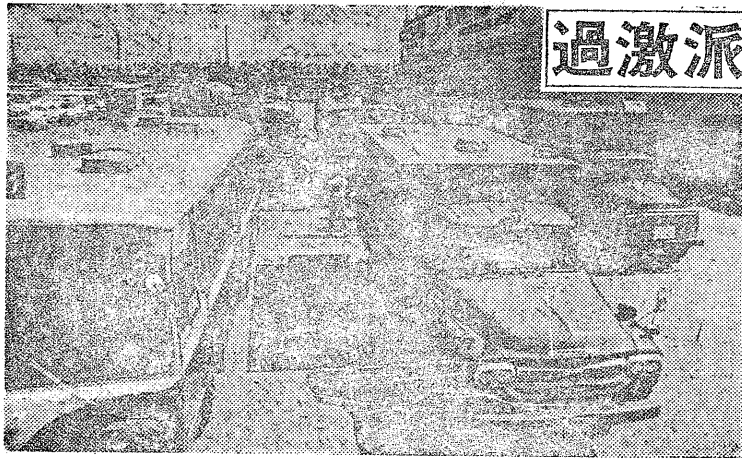
ヤミの地下生活続ける

皇太子夫妻の正式な来沖日程が七日午後、宮内庁と東で同時発表された。これら原義の皇太子夫妻の警備警備体制も本格的に海に出た。

長達したロカストロマがいのヒゲをたくわえたりして外見は、

50人警備隊過激派

が沖縄入り



この公安捜査隊は検査班、現場鑑識班、保証班、検控班などに分けられ、捜査一課一課、各警の捜査局で構成されている。公安捜査隊の主な任務は過激派諸セクトによるゲリラ的行動を抑止することだ。

と赤軍派などによる「シアポリス」と占拠闘争なども考えられるとして、

公安捜査隊は公安という名称の通り、公安警備当局の仕事だが果

に動き出した過激派が、

警備車両を陸揚げ 機甲部隊も沖縄入り

続々と総勢2400人

十五日午後二時半、那覇市安福の那覇港に、皇太子夫妻の来沖中、おの、海澄、那覇の警備、機甲部隊、各警区警備隊、

洋車両、防護車を含む四百台、警備官、海軍、警察官、

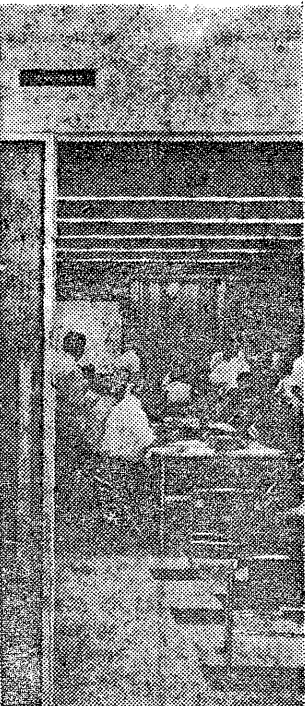
これら他警区からの応援部隊、

警護準備本部又スタート県警

皇太子ご来沖に備え

警護は十七日午前、皇太子ご来沖の準備本部が設置された。同準備本部は十七日早朝に実施本部に切り替える準備に万全を期す。設置された準備本部は本部警員百余人のほか、治安警備、同交通整理班、公共交通機関、通信班などの各班が含まれている。同準備本部設置に先けて十四日午後一時から県警、各署でも流備機動隊が陣出し入り口に立ち、警備官はじめ出入りする関係者すべてに身分証明書の提示を求め、厳しくチェックしている。

警備本部は情報、極左グループの行動確認班、捜査交通班、警護班、総括通信班を設けるの指揮に当たる総括機動隊の指揮官、本部長がいいる。これらの各班に割り当てられている警備官は約百五十人。



本部長以下3800人の陣容でスタートした
海洋博総合警備本部（海邦会館内）

総合警衛警護警備本部

県警は十六日午前九時半「沖繩国際海洋博覧会開会式に伴う総合警衛警護準備本部（本部長・加藤県警本部長以下三千八百人）を設置。十七日午後零時過ぎに日航特別機がお着きになる皇太子ご来沖の後に訪れる三木首相はじめ閣僚、外国のVIPの警衛警護に準備はじまり、以来の大きかりな警備態勢がスタート。同警備で最も重要視されているのが皇太子ご来沖の警衛。警備本部の総力を集中する。県警の警備班もこのもとに本島各署、中でも那覇市で大規模のコースに出た。名義、派手地の各署には海地警備班を設けた。

無線機、リモコンの通信施設写真寫送班と県警の近代機材をフルに活用した警備システムをとり前線で事件、事故が起きたらすぐに警備本部に知らせ、報告し、指示を受ける。逆に警備本部にはいった情報も第一線に流されるため、県内各地の不穏な動きはすぐに警備本部に届く。すでに海洋博覧会場皇太子ご来沖、その他のVIPが宿泊するホテルなどは警戒態勢で、不審者のマークや一般人の出入りをチェックしている。そのほか、県内の警備班、パトカーといった流備機材も警備本部に集中して配備された。

7-15 沖繩タイムス 夕刊

加藤県警本部長を減給処分

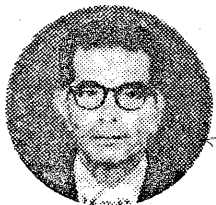
国家公安委員会

神谷警備部長は 本部長訓戒に



加藤県警本部長

国家公安委員会は、二十四日、去る十七日皇太子ご来沖の火災ひんが投げつけられた事件と自衛隊前での火災ひんが投げつけられた事件と関係がなかったとして当時の総合警備本部長だった、加藤県警本部長に対し減給百分の五（二カ月）の処分を決定した。これを受け、加藤本部長は警衛警護の責任者として神谷治安部長に訓戒、また村山盛一参事長に対し本部長の口頭注意処分を決定した。処分理由については、警衛警護の最高責任者として加藤県警本部長は、事件事故の万全を期する処置を取る責任にあつたにもかかわらず、防ぎ得なかつたものとしていた。



神谷警備部長

皇太子ご来沖警備の手落ちで

事件は、去る十七日午後一時五分ごろ、皇太子ご来沖一行が、糸満市糸満の〇四一〇百銀病院前を通過した際、同病院三階から皇太子ご来沖の車隊に投げつけられた。皇警

の塔の壁にも入り込んだ沖警同の二人組が、警戒のスキを見はからって犯行に及んだことは、警備上のミスとして、これまで問題となっていた。加藤本部長も事件後沖繩の県民感情を憂慮したと述べながらも警備のミスを認めていた。

この処分に当たり福田「国家公安委員長は同委員会の諮問を受けて「今回の警衛、警備については沖

7-24 沖繩タイムス 夕刊

青年協の闘争も認めぬ

県労協「皇太子来沖問題」で結論 三夜会議

皇太子来沖問題をめぐり、民主団体の間で論争が活発になつてゐるが、県労協は二十日、倉田議長、友吉副議長、降原事務局長の三夜会議を開き、県労協の最終的な態度を決めた。それによつて、県労協は皇太子来沖問題では、戦後第一の高度表示をしてはならないと決つて、皇太子来沖問題を議題にした幹事会は開かないと、県労協としての反対行動は一切絶つて、三夜の結論を以て、皇太子来沖問題に決着をいつた。また、県労協の青年協が独自行動として皇太子来沖阻止闘争を計画してゐるが、これも認めないとの結論を打ち出した。一方、県原水協（仲吉良新理事長）も同日、非公堂に理事会を開いた結果、当初予定された皇太子来沖反対に向けての抗議県民大会の開催がほゞできない情勢になつた。県労協の二夜決定は反府論等に大きな影響を与へ、労働、民主、団体が一体となった全体的な闘争は見送られる公算が大きくなつた。県労協「皇太子来沖問題」で結論をいつたのは、皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

県労協の三夜が幹事会も開かず、でも十分論議が済んだといふ。幹事会を開いて結論を出す状況でない。幹事会を開いて結論を出さなければならぬと先般を論じた。県労協「皇太子来沖問題」で結論をいつたのは、皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

からほれ、不満、不安、世間の、県労協内部は、かなりな状態である。

反対行動組まない

県民の悲惨な体験忘れるな

国公労が職場大会

国家公務員として国の行事である皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖に反対

全軍勞、中執委で決定 県民大会開催を県労協に申し入れ

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。皇太子来沖問題の解決に資する責任を負ふべきの決意のあらわれである。

テロ活動ひん発の恐れ

平教沖教組委 員長襲撃事件

7-11タイムス

本土から乗り込んで来た行動右翼が實際行動を起した。沖教組の平教委員長が行動右翼に襲われた事件は、皇太子ご夫妻の来沖を前に左右両派の過激派による影響ははかり知れないものがあり、来沖をめぐる県内の緊迫した空気を一段と険しいものにした。「皇太子来沖力阻止」を叫ぶ左派の過激派が頻々と沖通しを繰り返している中、行動右翼も負けず沖通し活動を行き回らざるを得ない事象が平教委員長襲撃事件で明らかになった。本土行動右翼は兵庫県明石市での日教組定期大会の準備中、一泊入行して皇太子ご夫妻の来沖を阻止しようとする動きがある。こうした右翼の動きは「騒動内情」も多量に注目の過激派にも相当の刺激となり、左右両派のテロ活動がひん発する可能性を極めて不気味な緊迫感をもたせている。

平教委員長を襲い逮捕された防衛阻止闘争の組織闘争として呼ばれている左派過激派集団の動向は、形勢急変の取り調べで、きび危険感を持っている。これまでも「皇太子ご夫妻の来沖を阻止」の反対行動を取るのはいくらも。オレは逮捕されたが、このままでは許さず、と平教委員長を襲撃した動機を自供した。森川の自供によると、行動右翼の天皇訪米阻止闘争を目標として皇太子来沖

阻止闘争を目標として皇太子来沖阻止闘争を起した。沖教組の平教委員長が行動右翼に襲われた事件は、皇太子ご夫妻の来沖を前に左右両派の過激派による影響ははかり知れないものがあり、来沖をめぐる県内の緊迫した空気を一段と険しいものにした。「皇太子来沖力阻止」を叫ぶ左派の過激派が頻々と沖通しを繰り返している中、行動右翼も負けず沖通し活動を行き回らざるを得ない事象が平教委員長襲撃事件で明らかになった。本土行動右翼は兵庫県明石市での日教組定期大会の準備中、一泊入行して皇太子ご夫妻の来沖を阻止しようとする動きがある。こうした右翼の動きは「騒動内情」も多量に注目の過激派にも相当の刺激となり、左右両派のテロ活動がひん発する可能性を極めて不気味な緊迫感をもたせている。

期派が十数人沖通しを企て、十七日の来沖への反対闘争の準備を進めている。その他、中核派、革マル派も相当数の部員が参加する動きを見せている。

一方、森川ら行動右翼も統々と沖通しに向かっていくという。これまでの調べでは森川は兵庫県明石市中での日教組反対闘争後、八日に船で沖入りしているが一人である。すでに極左過激派は兵庫同戦

右翼の嫌がらせか

県官公労 窓ガラス 銃弾で割る

7-11タイムス

二十一日午後四時半ごろ、那覇市旭町三丁目沖繩県官公労労働者共済会館の四階ボールの窓ガラスが四発の銃弾で割られた。この事件は、共済会館に、復讐感、国公労、全軍労、社会党本部の県民民主四団体の事務所が置かれていたため、関係者は皇太子来沖をめぐって反対行動を行った四団体に對する右翼派の嫌がらせではないかと推察されている。

同会館屋上には東向きに「皇太子来沖反対」の看板が掲げられており、割られた窓ガラスは、その看板の裏側に貼られていた。二十一日午前の独自検証で、神谷金庫労働書記長、新道社会党本部書記長も「皇太子来沖をめぐっての犯行」の現場を示している。

(4) 沖繩戦の怒りと日帝大皇帝制イデオロギー に對する糾弾の嵐——全琉を席卷

天皇制支配をねらう

学者、文化人がアピール

皇太子来沖問題で、県民世論が大勢を揺ら動しているなかで、沖繩出身の学者、文化人グループは十六日午後、皇太子来沖に関する「アピール」をした。同グループは、中今城大教授、新崎中教授、豊後医師の二十一人。「皇太子来沖は、我々の沖、沖縄返還の途上での儀式である。海洋博と結び、結びついで、戦後後継天皇制のむくみであった沖繩を、再び天皇制秩序のもとに包含してしま

うとする試みである」と強調する。この「アピール」は「天皇制支配に再び組み込まれるのを拒否する覚悟だけは、明確に表明してきている」として、天皇制秩序をめぐっての「皇太子来沖」の阻止行動を強く批判した。同日の記者会見で中今氏が述べたように、新崎氏は「沖繩は、異常な状況にある。われわれは具体的な方法で、帝権の行使を拒否する必要がある」と述べた。

皇太子来沖に関する「アピール」は、皇太子来沖をめぐって過激派、極左過激派が生じている。

「一方は皇太子来沖をめぐっての過激派(極左過激派)の過激な行動が行われ、他方では皇太子来沖をめぐっての過激派(極右過激派)の過激な行動が行われる」として、皇太子来沖をめぐっての過激派の過激な行動を批判した。皇太子来沖は、皇太子ご夫妻の来沖をめぐっての過激派の過激な行動を批判した。皇太子来沖は、皇太子ご夫妻の来沖をめぐっての過激派の過激な行動を批判した。

7-17沖繩タイムス

第2回沖繩まつり

きよつから「沖繩祭り」

江戸上りにぎやかなプログラム
行列など

【沖繩】沖繩商工会議所、沖繩市観光協会共催の「沖繩まつり」が二十日から二十四日の三日間、主会場の沖繩市運動公園と市内の園道300号線、空港通り、県道20号線、美里小学校グラウンド、新市つづりに重演がおかれた。

市村合併前の旧「江戸」のころは毎年「ユサマツリ」を催し、市民あびてお祭りを楽しんだが、昨年は旧美里村との合併で沖繩市となり、新市つづりに重演がおかれたのである。

8.22 琉球新報

百年前の琉球を再現

沖繩市で「江戸上り大行列」

【沖繩】百年前の琉球が沖繩市で再現された。

琉球商工会議所と沖繩市観光協会共催の「沖繩まつり」二百目の二十日は、まじりの最大の呼びものである「江戸上り大行列」と各種の催しによる豪華パレードが午後五時から同七時までの約二時間、県道20号線と園道300号線の約五キロにわたって行われ、時代絵巻をくぐった。この時代的な大行列を見るために約五万人の見物人が沿道の両側を埋め、そのみやびやかな姿を見張った。

「江戸上り行列」は一六四四年から一八五〇年にわたる三百年間に十七回行われた「幕府への謝恩使」でこの日の「江戸上り行列」も故事に習い、琉球国人人は全員が唐風、行列を導くのは薩摩藩の武士はきざらに装束で当時そのまゝの形で行われた。

まず、行列の先頭には「江戸上り」と書いた旗が立ち、次に馬に乗った我知古薩雲上(沖繩商工会議所会長の第一儀衛士、両班、御角、ラッパ、鼓などの楽器を奏する隊、祝儀「謝恩使」)中山王将と書いた旗、涼傘、衛士、奥に乗った正使の町田王(沖繩市)、儀衛士、カニに乗った副使の西田親方(ユサ信、金運事長)、騎馬の豊原儀衛士(ユサ池



史実に基づいて百年前の当時、そのままに再現された、みやびやかな「江戸上り行列」—沖繩市

8.24 琉球新報

「江戸上り」を新訳せよ。

生之新訳、打負、舞主、舞殿の五人は、昨日の夜に集まり、沖繩の歴史を語り、江戸上り大行列の再現を計画した。江戸上り大行列は、日本に伝来した舞主、舞殿、打負、舞主、舞殿の五人は、昨日の夜に集まり、沖繩の歴史を語り、江戸上り大行列の再現を計画した。

沖繩商工会議所は、沖繩市観光協会と共催で、二十日から二十四日の三日間、主会場の沖繩市運動公園と市内の園道300号線、空港通り、県道20号線、美里小学校グラウンド、新市つづりに重演がおかれた。

市村合併前の旧「江戸」のころは毎年「ユサマツリ」を催し、市民あびてお祭りを楽しんだが、昨年は旧美里村との合併で沖繩市となり、新市つづりに重演がおかれたのである。

8.22 琉球新報

【沖繩】沖繩商工会議所、沖繩市観光協会共催の「沖繩まつり」が二十日から二十四日の三日間、主会場の沖繩市運動公園と市内の園道300号線、空港通り、県道20号線、美里小学校グラウンド、新市つづりに重演がおかれた。

市村合併前の旧「江戸」のころは毎年「ユサマツリ」を催し、市民あびてお祭りを楽しんだが、昨年は旧美里村との合併で沖繩市となり、新市つづりに重演がおかれたのである。

8.22 琉球新報

買春観光を糾弾する。

大和の観光客達へ

おまえ達は何をしに沖縄に来たのか。

海洋博によつて、基地とCIT&と買春観光の島へと

作りかえられた沖縄に、

その海洋博にうかれ

自らの沖縄差別、女性差別にあぐらをかき、

大和人の優越感にみちみちて

沖縄を、沖縄女性をいりしにや、てきたのか

三百年にわたり我々を支配しれい属させ

天皇の名の下に我々の父を母を兄弟、姉妹を息子達を娘を

ぎゃく殺してきたおまえ達

かつて量産として沖縄に侵略してきたそのまゝの姿で

今また沖縄に上陸してきたおまえ達

沖縄の女を、鹽國女性を、

慰安婦としてじゃ、うりしてきたように

そして恥も外面もなくキーセン観光にうごめかして来た

ように今また、手懸は欲望のバケロとして

沖縄女性をキーセンを買いあさりにや、てきたのか

我々沖縄人、沖縄女性に、おまえ達を許さない

女を買いあさることを絶対に許さない

沖縄から即刻出ていけ

全ての訪仲者、学生、市民のみをいん

とりわけ、全沖縄の婦人訪仲者、女性のみなさん

私達は今も七月十三日、桜か、石翼の圧迫的包围にマシキヤ

の威嚇をはねかえし、皇太子上陸阻止―海洋博物館―買春

観光糾弾の政治的アローガンをも望々と掲げ、沖縄女性による沖縄女性解放会議の組織化を打ち出した。

と同時に國際主義的観点の明確な立場を表現するものとして、婦人共闘会議の組織を提唱、大和女性、米女性、鹽國女性等々との國際的女性解放斗争の連型をも同時に打ち出したことを先ずもつて報告したいと思ひます。

七三年「返還」し沖縄併合の完成としての沖縄國際海洋博をテコとした帝國主義

義プロシ・アジーによる沖縄の更なる再編、帝國主義侵略のメテロとして沖縄

を「基地」とCIT&と買春観光の島へと大改造せんとしていることをは、きり

と把え、とりわけ「本土」資本の流入と制度に伴う観光地化が、大和の沖縄に

対する、男性の女性に対する三重の抑圧、差別攻撃としての「買」春も沖縄女

性に強要し、更なる女性差別、沖縄差別の拡大を助長せしめていている二の

事情をみるならば、私達沖縄女性の任務は消うかと思ひます。沖縄女性解放

会議はこれへの攻撃を許さず、徹底した斗争組織として精励されたものです。

大和からの「人史」的標榜を打ち切り、男性からの「人史」的標榜を打ちきめるものとし

て沖縄があることを私達は、きりと確認しよう。

すべてのみなさん

すでに御存知だと思ひますが、帝國主義「プロシ・アジー」の沖縄に対する、沖縄

女性に対する差別抑圧の攻撃が、とりわけ買春観光地化攻撃が、マスコミを動

員した大々的に展開されて、います。テレビ「IPML」週面誌等の二のよう宣言

伝に對し沖縄女性を中心に糾弾の斗争が「本土」で沖縄で展開し開始されてい

ます。

沖縄女性解放会議は、その斗争の中軸として、買春観光糾弾、キーセン観光糾

弾、基地解体、CIT&建設阻止、海洋博物館、その他あらゆる女性、沖縄に對

する攻撃を打ちぬき、沖縄解放、女性解放を打ちつて行きたいと思ひます。

す。そして、すべての沖縄人、沖縄女性が共に築き上げることを許さないと思

ひます。

一九七五年七月二十日 沖縄女性解放会議

※「この文書は、編集委員会が編集したものです。アローガンは略」

あだん

発行所 海軍省防務研究所
編集者 堀内 孝年
印刷所 印刷局
定価 100円
1975-7-6

沖繩戦-皇太子沖繩上陸に 怒り-皇太子来るな!

皇太子の沖繩上陸に、沖縄戦の犠牲者や遺族、そして沖縄の民衆は、激しい怒りを覚えている。皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。

皇太子が沖縄に上陸するに当たっては、沖縄戦の歴史を正しく認識し、犠牲者を悼むことが前提である。皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。

皇太子が沖縄に上陸するに当たっては、沖縄戦の歴史を正しく認識し、犠牲者を悼むことが前提である。皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。

皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。皇太子が沖縄に上陸するに当たっては、沖縄戦の歴史を正しく認識し、犠牲者を悼むことが前提である。

皇太子が沖縄に上陸するに当たっては、沖縄戦の歴史を正しく認識し、犠牲者を悼むことが前提である。皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。

皇太子が沖縄に上陸するに当たっては、沖縄戦の歴史を正しく認識し、犠牲者を悼むことが前提である。皇太子が沖縄に上陸することは、沖縄戦の記憶を呼び起こし、犠牲者の霊を冒す行為と見られている。

皇太子沖繩上陸に怒り

地元の怒り頂点に達!

7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし!

住民無視の 突進工事

北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

責任を徹底して追及しよう

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

住民無視の 突進工事

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。北部の備瀬崎の工事、突進工事、住民無視の突進工事。

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

責任を徹底して追及しよう。住民無視の突進工事。7月1日夜、備瀬崎一帯が水びだし。住民の怒りが頂点に達した。

そてつ

創刊号 1975.7.31

海軍博物館が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

ひめゆりの島よ 皇太子の御上陸を阻止しようとする

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

11.3日本プロシヨナルテ、1.18海洋博開幕式

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。日本郵船が、皇太子の御上陸を阻止しようとする。

沖繩戦の今日的把握と七・一七



沖解同の決死糾弾に慄え

天皇制侵略イテ攻撃康砕を

寄稿 本田篤紀

天皇制—沖繩戦とは何かその今日的把握について

摩文仁ケ丘一壘百合の塔。それ殺した、天皇の軍隊—皇軍の沖繩人民に為した歴史の犯罪の象徴...

一命令は実行された。轟音が、繩解放闘争は、この「旧慣温存」つきぎに谷間にこだました。...

ものであることは、今日では鮮明に「非国民」扱いし、強制的に戦争に送り出したのであった。政策は、今日を変えてはつきりだが、このように天皇制政と日本帝国主義の沖縄支配の中に、府一県当局、一部の買弁階級の導入されつつある事を見抜かなくてはならない。海軍博覧会開催の煽動に沖縄人民が屈服したわけはなかつた。政府一県当局は、海はなかつた。社会主義が、苛烈な洋基地としての沖縄開発を宣言し、弾圧の中で人民の中に持ち込まれた。だがそれは、他ならぬ沖縄人民の血でもって、

行され、全ゆるものが奪われ破壊されていったのであった。沖縄をみることは出来ません。最も大切な、中堅労働力の破壊を含め、全ゆる都市・農村は、瓦礫の山と化し、長参謀長のいってこくと、沖縄は「吸血の島」と化して、だがそれは、他ならぬ沖縄人民の血でもって、

ら放棄せられ、又細々と「返還」される基地のほとんどは、一自衛隊が肩代わり使用し、残る数パーセントの土地の「地籍調査」すら政府のサボタージュによって暗礁に乗りあげて、今に沖縄人民の手には、握りの土地すら渡ってはいない状況である。だが沖縄人民は、対米請求権のみならず、基地の全面明け渡しを言上し、日本政府に対する植民地的支配と沖縄戦の損害に対する請求権を行使するべきであり、又その権利は完全に認められるべきである。沖縄の開発、資本投資の全ては沖縄人民の決定と行使に委ねられるべきである。

置良県知事の発言に迎合するかのよう、復讐運動・反戦反基地運動を担い抜いて来たはずの、婦人団体連合会、PTA連合会などが「十七日当日来沖縄歓迎の日」の旗を振った。六〇年代は遠く去ってしまった。旧イデオロギーは色あせて風化し、令や、支配者を肥え太らせるまでに腐臭を放っていることに我々は気がつかない。しかし、最も象徴的な意味で、沖縄現代史の一つの施回点となった。沖縄人民にとって近代天皇制とは何か、沖縄戦とは何か、今それが鋭く問われなければならない。それは沖縄解放を担う沖縄人民にとって不可欠の課題となった。(そして又、もちろん「本土」プロレタリア人民も又、自己の解放を真剣に考えるなら「七・一七」をきっちり把え返すと同時に、我々にとって天皇制とは何かを今一度鋭く問われなければならない。「七・一五・二五」はその本質的な姿を、「七・一七」を通して明らかにし、露呈させた。

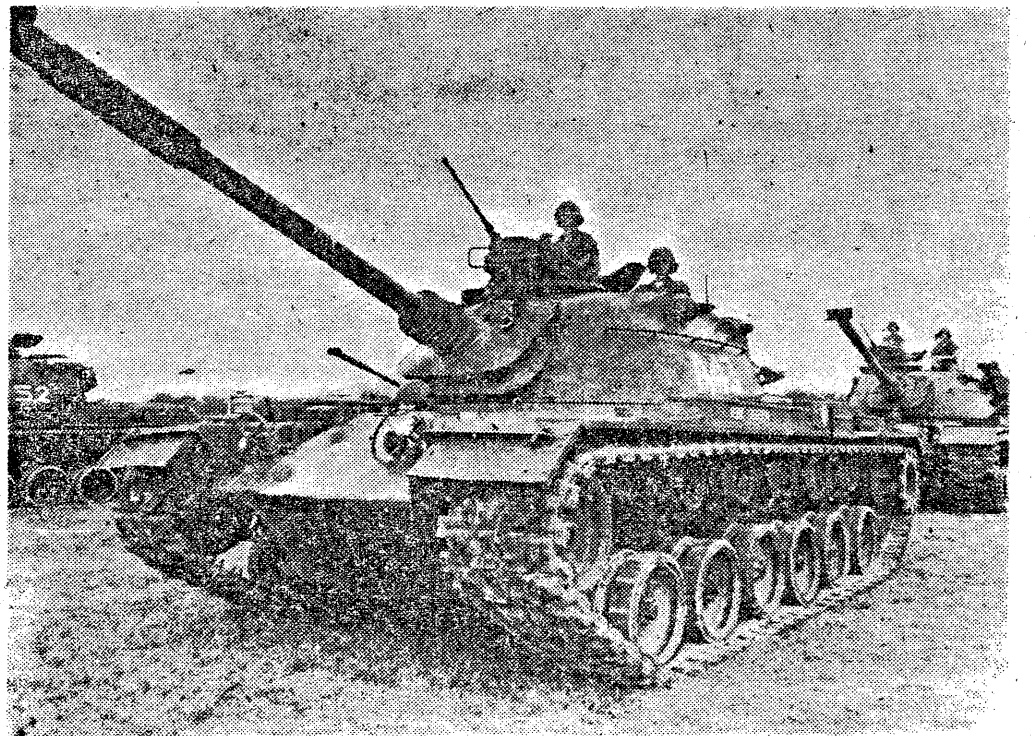
沖縄解放の為の 今日的課題

侵略の道をたどるに、中国侵略を前後して、強引に沖縄に持ち込み、強制的に皇国史観であり、それは只ひたすら、沖縄戦へと登りつめた侵略と同一イデオロギであった。そして、沖縄自身の内在的な問題においては、沖縄有識階級が、この近代天皇制の侵略イデオロギーへの同化攻撃の前に、有効な組織的反抗を結ぶまでもなく敗北していったことであり、それは、すくなく、伊波歴史論(沖縄史観)の事大主義的な同化理論のそのブルジョア性、そして、それに依拠した、沖縄有識階級の天皇制と日本民族主義への反動的な同化・屈服の歴史過程が、内在的に照応している事を、把えておかなければならない。そして今日、沖縄解放を担う、沖縄人民にとってこの日本民族主義への屈服の同化イデオロギーを不断にその内部から生み出すこと、伊波歴史論(沖縄史観)にもとづく、沖縄史観を、根本的に批判、清算すること、極めて重要な、イデオロギー上の課題となった。沖縄の全政治党派は、基本的にはこの伊波歴史論(沖縄史観)に立脚していることが「七・一七」を全く隠いきれなかつた最大の根拠であった。そして

又彼らが、今後の反動の嵐にたいして抗しきれないであろう最大の内在的な根拠もここに在る。彼らは「本土」の政治に系列化されてゆくに従って、沖縄解放の内的な緊張関係を喪失しつつあり、本土の「革新連合政権」の展望に一切を委ねることを余儀なくされざるを得ない。それは一社大党の衰退に最もよく象徴されていると同時に、いわゆる県労協在野勢力の、政治的位置の喪失・減退に顕著に現われている事象の本質である。沖縄人民は、マルクス・レーニン主義にもとづく、確固とした科学的な解放理論で武装することが、今、もっとも強く問われている。実のところ、これだけが、沖縄人民が、真に正しく「権力問題」に接近する道であり、沖縄人民が、抵抗の道ではなく、解放と勝利の道を行く道には、是非其不可欠の道なのである。今日以後もはやこのことに触れず、「本土」で沖縄を置く「プロ独政府」を語ってもそれは空語である。それは又、今日、共産党や解放派、あるいは又、労共委の諸君の様に「沖縄人民の自決権支持」を唱えたら、沖縄解放闘争における「ヤマトンチー」の責務が果たされたかのように考える無邪気な召還主義とも無縁である。沖縄論において、独自の位置を占める新里金福氏は、沖縄と天皇制の問題について、多く語っているが、丸山真男流の、観念論的偏向に時として陥っている。彼は天皇制について、「階級社会の内容を無階級社会の形式で包むこと」に天皇制ならびに、天皇制国家の実体があるのだが、その形式と内容の分裂が引き起こす矛盾の表現が近代日本における絶え間のない戦争の歴史であった。(「沖縄解放の未来像」P17)と述べているが、天皇制国家も又国家である限り、氏述べる矛盾によつては天皇制の階級基礎から、語らない限り事は出来ない。氏は又、沖縄に国家の絶えざる戦争の歴史を論ずるとしての天皇制を「近代沖縄の不幸と悲慘の元凶」と論ずるが、天皇制の階級基礎から、語らない限り、それは必ず、観念的な一内なる天皇制の問題を論じる俗流丸山学派に屈服してゆくのである。なる程戦後の日本歴史学を中心とした天皇制の批判の開始の中で、一人の歴史学者をかかえて登場した、羽仁五郎、井上清を中心としたマルクス主義陣営からの天皇制批判に対し、「国民の心的傾向なり行動なりを一定の溝に流し

3

日米帝の侵略 反革命前線基地 = 現在の沖縄



戦闘能力を強化する在沖米海兵隊—14日、キャンプ・ハンセン

韓国の安全「強調」

日米首脳 共同声明を公表



朴大統領 フォード大統領 三木首相

【ワシントン六日電】日米首脳共同声明は、日米両国間の協力を再確認し、朝鮮半島の平和と韓国の安全を確保することを目的として、六日、ワシントンで開かれた日米首脳会談の結果、三木首相とフオード大統領の両首脳が、この共同声明を共同記者会見で発表した。この共同声明は、日米両国間の協力を再確認し、朝鮮半島の平和と韓国の安全を確保することを目的として、六日、ワシントンで開かれた日米首脳会談の結果、三木首相とフオード大統領の両首脳が、この共同声明を共同記者会見で発表した。

三木首相は、この共同声明の中で、日米両国間の協力を再確認し、朝鮮半島の平和と韓国の安全を確保することを目的として、六日、ワシントンで開かれた日米首脳会談の結果、三木首相とフオード大統領の両首脳が、この共同声明を共同記者会見で発表した。

フオード大統領は、この共同声明の中で、日米両国間の協力を再確認し、朝鮮半島の平和と韓国の安全を確保することを目的として、六日、ワシントンで開かれた日米首脳会談の結果、三木首相とフオード大統領の両首脳が、この共同声明を共同記者会見で発表した。

この共同声明は、日米両国間の協力を再確認し、朝鮮半島の平和と韓国の安全を確保することを目的として、六日、ワシントンで開かれた日米首脳会談の結果、三木首相とフオード大統領の両首脳が、この共同声明を共同記者会見で発表した。

共同声明全文

日本国総理大臣とアメリカ合衆国大統領は、日米両国民が民主主義の基本的価値を分かちあひ、相互信頼と協力によって結ばれていくことを認識し、両国は「一層開放的、自由な国際社会を築くために互に義務を相俟して努力することを確認し、次の通り声明する。

一、互に平和と自由な世界秩序を實現するに必要と認め、ユーロパ、アジア、中東の発展途上の諸国を助けること、すべての国々が国際的行動に於いて一定の原則を受け入れ、創造的な国際的対話を確立することが必要である。

この原則は、すべての国家の主権を尊重する、他国の正当な利益を尊重する、国際法に基いて相互尊重の態度を臨むこと、平和裏に国家間の相違の解決を求め、決意を共にして、世界における社会的正義と経済的進歩を強く擁護することが含まれてはならない。

日米両国は、このような原則を支持し、これを反映した国家間の対話を育成することを約し、多くの分野にわたり共同して努力すること、協力関係を拡大強化すること、日米両国は、アジアにおける公正かつ永続的平和が全世界の平和にとって必要であることを認識し、同地域の国々がこのような平和を確固たるものとするために、互に努力し、あらゆる支援を与える。

国際経済社会関係は、諸国民の繁栄を促すすべての個人および国家の願望と創造性を促進するものとなり、開港港、原料産出国、先進国の利益、全体の福祉を促進し、社会的経済的公正に向かいつつ一層近づいていくべきものである。この努力は、日米両国は、全面的な貢献を行うものである。

昭和五十年八月六日

朝鮮の安定は日本の安全

在韓米軍の駐留

三木首相の方針 要請



三木首相は五、六の両日ワシントンで行われるフォード大統領との日米首脳会議で、在韓米軍が引き続き駐留するよう強く要請する。この朝鮮半島の安定は日本の安全と不可分なものである。要である。韓国の安全は朝鮮半島全体の平和および安定と不可分なものであることを強調している。と強調する。三木首相のこうした考えは、今度の首脳会議に基づき日米共同声明に明記される公算が大きい。この点について三木首相周辺は、対象を韓国から朝鮮半島全体に広げた。九六九年の日米共同声明のいわゆる「韓国条項」とは質的・量的に韓半島の安定を指しているが、野党各派は「韓国条項」を事実上再確認したものであるとして、九月初旬からの臨時国会で追及するつもりである。

三木首相はこれまでの記者会見「極度の重要（ハイタール）」と語り、表裏で日本の安全とこの重要事項を強調するつもり。その対象が韓国から朝鮮半島全体に拡大されていることはいえ、米政府も、韓国政府、それと日本国との協力に對する大きな「配慮」を示すものとして注目されている。しかも、今秋の国連総会での在韓米軍司令部解体交渉の可決が確保される情勢のため、三木首相が在韓米軍の減縮交渉を請うることは、北朝鮮や中国を刺激する可能性もある。また三木首相の発言は、前段で「朝鮮半島」を強調しながらも、後段には「韓国の安全は朝鮮半島全体の平和と安定と不可分」と付け加えてお

り、結局は「韓国条項」を再確認したのと同じで、野党側の要求を受ける公算が大きい。(注)一九六九年日米共同声明の「韓国条項」は「韓半島の平和と安定を確保し、朝鮮半島に核兵器の拡散が存するのを防止し、米韓協力が存するのを促進し、韓国の安全は日本自身の安全と不可分である」と述べた。

三木首相は自衛隊増強を約束 米が日米首脳会谈評価の文書

米政府関係者はこの八月相模原に伝え、その内容が三十日五、六の両日、ワシントンで行われた日米首脳会谈で、三木・フォード両首相が日米首脳会谈の副題として「非公式文書」の形で三木首相が表現したものが、ホワイトハウス、國務省、国防省の間に渡り、非公式文書の骨子として送られた。

文書の骨子

米側非公式文書の骨子の通訳は、ホワイトハウス、國務省、国防省、(今度の会議で)これら三つの日米首脳会谈のなかで、最も成功したものであった。一、三木首相が軍事大国および核保有国とならなければならないことを保証した。二、三木首相は個人的に、朝鮮半島で戦争が起きた場合、在日米軍を戦争終結のため使用することを日本政府が妨げないとの保証を与えた。三、首相のナショナル・プレス・クラブでの演説は、アメリカ市民の心に響いたが、問題は日本国民の受けとめ方である。

これについて政府関係者は、首相は、首脳会谈で、朝鮮半島と日本は地理的にも近く、韓国および朝鮮半島の安全と平和は、日本の安全にも大きな影響を与えるので、日本としても真剣に考えたいという意思表明をしたのであり、イエスの保証を与えたものではない」と確言しており、このあたりの解釈の食い違いは、日米両国の立場の微妙な相違を反映している。非公式文書は、ホワイトハウスおよび國務省高官の第一の関心事は「三木首相は明らかに、三木首相にすぎないのではないかと、この東京から繰り返し送られてきた情報」と、率直に明らかにするとともに、にもかわらず、フォード大統領と三木首相が親密な個人的関係を確立したことで「そんなこと(誓定権が否か)に關係なく、新しく永続的な信頼関係を形成することが出来た」とし、首脳会谈の結果、「誓定権は確かに」という三木内閣に対する心配は、ぬぐいさられたと評価している。

自由化再び表面化

パイン
かん詰め

新国際貿易委で内定

10月の交渉で決着?

【東京】パインかん詰め品の輸入自由化が再び表面化、油漬のパン産業はこれまで以上に厳しい環境に置かれることになりそうだ。これはこのほどジュネーブで開かれた新国際ラウンド(多角的貿易交渉)の貿易交渉委員会が、熱帯産品グループ交渉は十月二十日から始まる予定で、発展途上国側は同交渉でパインかん詰め品は五五五の税率を強要要求してきていること、政府は対応策に苦慮している。現在、外国から輸入されるパインかん詰め品は五五五の税率がかり、しかもこの品目(輸入割当制)となつてゐるため、国際競争力の強い油漬パン産業は壊滅的な打撃を受けることは必至で、大きな政治問題に発展するのでは間違いない。

政治問題への発展必至

外務省は十月から始まる熱帯産品グループ交渉で農産物の輸入自由化について受諾する公算が強いと判断、近々農林、通産など関係各省と農産物輸入政策の見直しを行い、政府として熱帯産品輸入を促進する環境づくりを急ぎたい方針である。同省としては、新国際ラウンドの状況の変化に対応して①残存輸入制限(農産物は十二品目類)の撤廃の特恵関税および一般関税の引き下げ一を関係各省に働きかけたかと考へてゐる。熱帯産品グループ交渉では、先進国側からそれぞれ輸入促進案を発展途上国側に提示することになつてゐるといふ。そこで日本が真体系を提示できない場合、途上国側から反発を受けるおそれなく、米国の先進国側からも交渉の足並みを整へるに批判されることは必ず、外務省としては輸入促進案を自急に作成したと考へてゐる。輸入促進案とする上での最大の焦点は、残存輸入制限品のうち何を自由化するかどうかという問題。発展途上国側は、果て、近海魚、コシニヤクイモなど並べたパインかん詰め品の自由化を強く要求してゐるといわれる。農林省は、果樹園地振興特別措置法で油漬パン産業の保護、育成をうたつてゐるため、発展途上国側が自由化を要求してもおそれと対応する訳にはいかないといふ。自由化要求には抵抗して行く構え

7.27 琉球新報

重点「農業基盤整備」

沖縄
開発庁

8.27 琉球新報

74億円の要求へ 現年度より77.9%の増

【東京】沖縄開発庁は来年度予算で油漬の基幹産業である農産物振興を計るため、農業基盤整備事業に力を入れていく考え、このため、今月末末期に提出する増額要求では、現年度より七・九%増の七十四億二千二百円の農業基盤整備事業費を要求する考えだ。

このように開発庁が農業基盤整備事業に力を入れているのは、油漬振興のため、第一次産業である農産物のウエート(比重)を高めていく必要があること、しかしこの整備事業が本士でいくらも著しく遅れてゐること、また、来年度においては、継続事業の石垣島宮川地区かんがい排水事業(五億円を要求)をはじめ、県営または団体営で行うかんがい排水、ほ場整備、農道整備、など(約五十億円を要求)、また農地開発、草刈り、畜産経営環境整備事業に対する補助(約九億円を要求)などを予定してゐる。また来年度から新規事業として農用地開発公団による畜産基地建設事業(石垣島、実施)に対する補助として一億四千二百万円を要求するところ、これは右か過ぎならしてあり、これを本士並みの水準に引き上げていくべきで、農用地には大幅な投資額の拡大以外には、例としていかならない。また同庁の試算によれば、単位面積あたりの農業基盤整備投資額は、本士の約三分の一にとどまらなかつた。このため、同庁は、同庁の試算によれば、単位面積あたりの農業基盤整備投資額は、本士の約三分の一にとどまらなかつた。このため、同庁は、同庁の試算によれば、単位面積あたりの農業基盤整備投資額は、本士の約三分の一にとどまらなかつた。

パイン対策に本腰

【東京】油漬のパン産業は今期も厳しい環境に置かれるが、農林省は、昨年のように消費需要が落ちた、油漬のバックアップや生産者への指導を強化、増産を図るのがねらい。来期の生産量は、百五十万トン、を予想しており、対策協議会では、肥培管理など強力な指導を組んで減産防止に努める意向。このため、十八日、中部、十九日、関西、二十五日、宮古、二十六日、八重山で指導員を中心に対策協議会を開く。

【東京】油漬のパン産業は今期も厳しい環境に置かれるが、農林省は、昨年のように消費需要が落ちた、油漬のバックアップや生産者への指導を強化、増産を図るのがねらい。来期の生産量は、百五十万トン、を予想しており、対策協議会では、肥培管理など強力な指導を組んで減産防止に努める意向。このため、十八日、中部、十九日、関西、二十五日、宮古、二十六日、八重山で指導員を中心に対策協議会を開く。

待遇について十分説明

沖繩入りの韓国パン女工員
ソウルにある国際技能開発協会の金鍾植氏は、七日來沖したパン女工員一行について沖繩入りしたのが昨年問題になった女工員の待遇問題について、双方に誤解があった。今回、事前に協議を開いて十分説明したので、問題はなほと語った。これは昨年沖繩入りした女工員が、韓国を出発する際、約束した賃金と実態に支払われた賃金の差があるとして朝鮮日報に投書、これが大きく報道された問題になった。しかし、沖繩の受け入れ窓口であるパン組合に事実と相違するとして反発していた。

今回来沖したのは、全国公選による三百九十九人の四月間、県内のパン工場に働く各工場への配置が、次の通り。
沖縄通信(二十人)大東パイン(三十人)、経済連本部(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)、同上(百七十五人)計三百九十九人。

韓国から女子工員 きょう沖繩入り

韓国からのパン女工員三百九十九人が七日午前十一時半、那覇のチャーター機で沖繩入りする。一行は県内の労働者不足をカバーするため来沖するもので今回で三回目。全島北部のパン工場が起り、今回の導入は危ぶまれていた。ところが、北部近郊の農家の主婦などが待遇のよい海洋博関連企業に働き、工場関係者は高校生に労働を呼びかけているほか、県にも協力を要請している。韓国から導入されるのは、従業者不足をカバーするのだから。

パイン工場閉鎖



従来、台湾から導入、人手不足をカバーしてきたが、韓国との国交が断絶、代わりに二昨年から韓国に依存、初年度が約二百人、昨年七百十人を導入した。しかし、言語の違い、労働条件などの問題があるため特別措置がとられた。

韓国から女工さん

各パン工場に
韓国からのパン女工員三百九十九人が七日午前、那覇着のチャーター機で来沖した。従来、パイン工場は台湾から導入、人手不足をカバーしてきたが、韓国との国交が断絶、代わりに二昨年から韓国に依存、初年度が約二百人、昨年七百十人を導入しており、今回は三年目の日、来沖した女工員たちは、全島、北部のパン工場に配置、最盛時稼業の四月間滞在する。

8.7琉球新報

され、稼業規模を縮小する次第。それだけに韓国からの「労働部隊」は、ドンチにあるパン業界に大きな救いとなっている。

パイン工場のスロウダウン

海洋博粉砕 ● 沖繩解放 ●

戦犯天皇決死糾弾 ● 7.17 姫百合・白銀決死糾弾闘争断固支持 ●

日米韓 侵略反革命軍事体制粉砕 ●

日米帝の侵略反革命前線基地解体 ●

自衛隊の沖繩派兵阻止
米海兵隊の美弾演習阻止
米海兵隊の沖繩女性暴行糾弾

釣魚台略奪阻止 ● 日韓大陸棚協定粉砕 ●
買春観光糾弾 ●

「本土」独占資本の沖繩進出阻止 ● C.T.S建設阻止 ●
日帝の新植民地支配粉砕 ● 天皇制イデオロギーによる皇民化攻撃粉砕 ● 沖繩人民への差別一同化攻撃粉砕 ●
南朝鮮人民の反朴反日救国闘争連帯 ● 日韓 定期密着会議粉砕 ● 入管法上程策動粉砕 ●

10.3 韓国ナショナルデーへの朴の来沖阻止 ●
12.6 (日本ナショナルデー) 1.18 (肉體)への皇太子沖繩再上陸阻止 ●
9.30 天皇訪米阻止 ● 羽田現地闘争へ ●
反「日」戦闘に決起せよ ●
姫百合・白銀の四戦士尊遷 ● 早期結審策動粉砕 ●

六価クロムに怒り

県は二十日午前、六価クロムを流出した田米軍港補給基地の立ち入り調査をしたが、これに対し、全軍港牧港支部（藤原男支部）や同基地内の従業員は「米軍側がデマを流してケチクネの上げの調査には実態はつかない。大勢の従業員がいろいろだし、それらの人々からも話を聞き、事実関係をきき取り整理すべき」と、調査のあり方に不満を述べている。また、六価クロムを流出したタンクナンバー六二五（動力）従業員は「薬物（B）アンタモニール」のほうでいたタンクは七〇〇に設置された」と話し、相当長い期間Bアンタモニールが使用されていたことを指摘している。

全軍港牧港支部の藤原支隊長は「県は、米軍側のタンクを調査しているが、これは米軍側の井筒を聞くつもりなのだから、私に疑問をもちている。か

たきいひにかたうひなあたたし、何も出て来ないのならば、現場には従業員が大勢いるわけだし、彼らが実態を一番良く知っている。流出事故を起こした時の責任者もわかるはずだ。その人たちの話をまず聞くべきだ。県側はそのことを申し入れたがそれがなされていない。あす、さらに申し入れをした」と不満を述べていた。また「六二五だけでなく、その隣接した六〇九も調査すべきだ。これは、洗車したりペイントしたりするところだから必ず使われている」とも話していた。

なお、同日、米側は補道関係者を基地内に入れ、現場説明をしたが、六二五で動力タンクは「米軍側は事故についてどうもわかっていない」と話している。かたきいひにかたうひなあたたし、何も出て来ないのならば、現場には従業員が大勢いるわけだし、彼らが実態を一番良く知っている。流出事故を起こした時の責任者もわかるはずだ。その人たちの話をまず聞くべきだ。県側はそのことを申し入れたがそれがなされていない。あす、さらに申し入れをした」と不満を述べていた。また「六二五だけでなく、その隣接した六〇九も調査すべきだ。これは、洗車したりペイントしたりするところだから必ず使われている」とも話していた。

米軍基地内の六価クロムやその他薬物類の影響ではないかという被害の訴えが相次いでいる。いまのところ因果関係ははっきりしないが、三十日現在、全軍港支部や同牧港支部、社会党県本部が掌握しただけでも死亡四人を含む三十六件の数字にはなっている。そのほか、七、八件の死亡例もあるといわれ、全軍港本部や牧港支部では米道から本格的な追跡調査を進めて行くことになっている。また、因果関係や米軍の責任及びがやむやみにされないよう行政サイドの強力な取り組みを徹底的に要求して行く方針。

現在、全軍港牧港支部などで掌握している被害の訴えは、死（四人）（がん）、鼻から出血、頭痛、一カセの症状で急死、急性白血病（一）、炎腫一人、鼻のわずらひ一人、肝臓が悪く通院一人、ノドの痛み、手のたれ、首と腰二十人、手のたれ二人、頭痛二人、肺のわずらひ四人となっている。そのほかにも死亡例が七八件あるといわれ、さらに「自分も体の調子がおかしいが基地で働いていたためではないか、どうしたらいいか」「死した者の親類が当時の様子やよくわかってほしい」との訴えが相次いでいる。牧港支部では三十日定期大会があることから、それが終わりたいと求道から本格的な追跡調査を始めるようになっている。

六価クロム問題

「従業員から実態聞け」 全軍港 県の調査方法に不満

4 激しく燃え上る 沖縄の労働運動



労組幹部の不当逮捕に対する抗議集会—県庁前



20日に閉鎖されることになった沖縄繊維工業

米軍請負業で

全員解雇

7-31 琉球新報

ダイナ・レクトロン

解雇者同盟「結成」

全軍労働者同激・団結集会開く

全軍労働者同盟（大卒修業員）は、米軍は今年もすでに二千八百人の解雇を発表、二千四百人が解雇されている。来年六月までにはこれら解雇者を含め三千人の解雇が予想され、米軍の首切り旋風はますます激しくなるか、米軍の再編強化や従軍員の強制配転を進める中でのこの強化される傾向に、解雇者同盟の結成が急務である。

これに加え、後援者の島地インシヤに不安定な状態である地元民間企業の倒産で、労働市場の狭い沖縄は失業者があふれているのが実情。この悪条件下で、軍職者の再就職も困難をきわめ、これまでに再就職したのは二五％に過ぎない。

同支部では、東京内労働情勢から、今後とも解雇撤回を強化する一方、支店を離職者が連帯して、同僚に働きかけ、追及し、解雇者同盟の結成を促進する方針。

同支部では、基地労働者の解雇は一九六九年の日本共同声明から後援後にかけて相次ぎ、そして六月までに二千五百人に達している。米軍は今年もすでに二千八百人の解雇を発表、二千四百人が解雇されている。来年六月までにはこれら解雇者を含め三千人の解雇が予想され、米軍の首切り旋風はますます激しくなるか、米軍の再編強化や従軍員の強制配転を進める中でのこの強化される傾向に、解雇者同盟の結成が急務である。

これに加え、後援者の島地インシヤに不安定な状態である地元民間企業の倒産で、労働市場の狭い沖縄は失業者があふれているのが実情。この悪条件下で、軍職者の再就職も困難をきわめ、これまでに再就職したのは二五％に過ぎない。

同支部では、東京内労働情勢から、今後とも解雇撤回を強化する一方、支店を離職者が連帯して、同僚に働きかけ、追及し、解雇者同盟の結成を促進する方針。

同支部では、基地労働者の解雇は一九六九年の日本共同声明から後援後にかけて相次ぎ、そして六月までに二千五百人に達している。米軍は今年もすでに二千八百人の解雇を発表、二千四百人が解雇されている。来年六月までにはこれら解雇者を含め三千人の解雇が予想され、米軍の首切り旋風はますます激しくなるか、米軍の再編強化や従軍員の強制配転を進める中でのこの強化される傾向に、解雇者同盟の結成が急務である。

7.28 琉球新報

全軍労働者、米軍へ抗議

ダイナ・レクトロンは、米軍労働者同盟の請負業で、飛行機の整備、修理、塗装などの仕事をしていた。六九年に米軍と契約し、毎年一回行われていた契約更新が、数回続いた。ダイナ・レクトロンは再契約していた。しかし、米軍は、再契約を拒否し、業務量減少を理由に、三百人もの従軍員を四十一人に減らした。

米軍は基地の徹底した安全化の合理化を掲げる中、今年の新契約（七月十四日）に米軍労働者を減らした。ダイナ・レクトロンは、米軍のこの決定に強く抗議し、米軍の再編強化や従軍員の強制配転を進める中でのこの強化される傾向に、解雇者同盟の結成が急務である。

これに加え、後援者の島地インシヤに不安定な状態である地元民間企業の倒産で、労働市場の狭い沖縄は失業者があふれているのが実情。この悪条件下で、軍職者の再就職も困難をきわめ、これまでに再就職したのは二五％に過ぎない。

同支部では、東京内労働情勢から、今後とも解雇撤回を強化する一方、支店を離職者が連帯して、同僚に働きかけ、追及し、解雇者同盟の結成を促進する方針。

同支部では、基地労働者の解雇は一九六九年の日本共同声明から後援後にかけて相次ぎ、そして六月までに二千五百人に達している。米軍は今年もすでに二千八百人の解雇を発表、二千四百人が解雇されている。来年六月までにはこれら解雇者を含め三千人の解雇が予想され、米軍の首切り旋風はますます激しくなるか、米軍の再編強化や従軍員の強制配転を進める中でのこの強化される傾向に、解雇者同盟の結成が急務である。

集団移動計画を撤回せよ

全軍労働者が街頭教宣



全軍労働者は9日、街頭で(リウボウ前)

8.9 琉球新報

米軍の一方的な大規模解雇、集団移動計画に反対している全軍労働者（友愛信託委員長、組合員八千人）は九日午後三時から那覇、浦添、宜野湾、沖縄、具志川の五つの地区で教宣ビラを配り、全軍労働者の支援を呼びかけた。集団移動計画は、米軍の基地の安全化、再編強化を目的としたものである。

九日は、友愛信託委員長、浦添、宜野湾、沖縄、具志川の五つの地区で教宣ビラを配り、全軍労働者の支援を呼びかけた。集団移動計画は、米軍の基地の安全化、再編強化を目的としたものである。

九日は、友愛信託委員長、浦添、宜野湾、沖縄、具志川の五つの地区で教宣ビラを配り、全軍労働者の支援を呼びかけた。集団移動計画は、米軍の基地の安全化、再編強化を目的としたものである。

全軍労働者 来月に24時間スト

最終方針 既得権の確保めざし を確認

全軍労働者は十六日午前十時から本部で中央闘争委員会を開き、八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

八月のストをめぐり、最終方針を確認した。その結果、相次ぐ首切り合理化反対、定年制などの既得権を確保し、公務員と同様の賃金を確保する方針が決定した。

「意図的な

不当逮捕
抗議集会

逮捕だ

各代表も警察を批判

沖教組主催による「不当逮捕抗議集会」は、十八日午後五時すぎ、かぬ原中前広場で約五百人が参加、私学支部、基督教女学園分会役員として行われた。この集会は警察の逮捕は、労働運動への不当介入だ

として開かれたもので、意見発表した各代表も「意図的な逮捕である」と警察の行動を批判した。集会ではまず平敷沖教組委員長があいさつに立ち「基督教学園の正常化に努力している時、警察が労働争議に不当介入することは、問題解決を長ひかせ混乱させる。一日も長く学園を正常化させよう」と学園の正常化を強調した。そのあと意見発表にうつり渡久地私学支部委員長は「権力のテツ子あけを許してはならない。こんな逮捕は労働運動を破壊するた

めになされたものである」と述べ、大島基督教学園争奪、照屋沖教組婦人部副部長、国頭基督教学園共闘会議議長、宮城県労働青年団議長も警察の逮捕を批判した。池宮城弁護士は「団交を求めると組合の正当な行為に対して警察は意図的に逮捕した。逮捕監禁罪は果たらない」と組合の行動を支持した。「基督教女学園の民主化と学園理事長の退陣を要求する決議」を採択したあと、国際通りを通過して鐘元寺前までデモした。

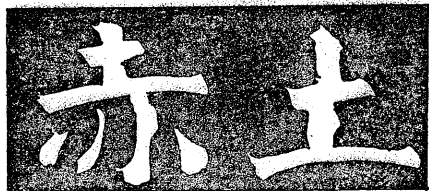
皇太子マキヒト 沖繩上陸

決死阻止

七・七 白 鉛 決死隊員糾弾状

沖繩解放同盟(準)本部
海洋博粉砕沖繩「本土」共闘

領価 二〇〇円



海洋博粉砕、天皇皇太子沖繩上陸
阻止、沖繩「本土」共闘
の機関紙

沖繩通信

残部僅少

4号 (400円)

- ・連載 = 海洋博と闘う(3)
- ・「5.15」体制3年
- ・沖繩解放闘争と革命党建設

5号 (300円)

皇太子沖繩上陸阻止

牧港補給基地からの猛毒六価クロムたれ 流しに対する抗議決議(案)

在沖繩米軍は、これまでで幾度となく牧港補給基地から重金属を含む廃油たれ流しを行ない、また有毒の薬物を海に放出して一帯を公範園にわたって汚染し、魚介類などに被害を与えてきた。

こうした軍事基地からの劇毒放出に対する地域住民、県民の不安と怒りがさめやらぬうちに、またしても、去る八月十日に牧港補給基地内の六一五ビルから「BアンチBクリナー」をたれ流し港川海岸一帯を汚染した。しかも採取された汚水から生活環境基準(〇〇五PPM)の実に八〇〇〇倍にもおよび四〇〇PPMの六価クロムが検出され、さらに容器に残った同液の原液からは一・二〇PPMの六価クロムをはじめ微量の鉛やカドミウムなどが検出されている。

六価クロム公害が重大な問題としてクローズアップしているまさにこの時猛毒六価クロムが牧港補給基地から公然と海にたれ流されていたことが明らかになり地域住民や基地に働く労働者を恐怖のどん底におとし入れている。これのやむをえず「BアンチBクリナー」をこの毒液の危険性や成分などにまったく知らされない、はたまた無防備のままに、基地労働者に使用させ生命を根底からおびやかしていることは絶対に許せるものではない。こうした米軍の行為は、首如り合理化による徹底した基地の安あがり維持と日本人労働者や地域住民の生活と生命の安全をまったく無視した、軍事基地優先に起因するものであり断じて容認できぬものではない。

したがって私たちは米軍による毒液たれ流しに対し激しい憤りをもつて厳重に抗議すると共に、日本政府は米軍に対して二度とこのよりの不祥事をひきおこさないよう厳重に取り締るよう強く申し入れるものである。

右決議する

一九七五年九月四日

九・四米軍による猛毒六価クロムたれ流し糾弾、
軍事基地撤去要求労働者集会

米國領事
防任施設局長殿

※9月5日(今日) 午後5時 支部会議室 各分会「6価対策集会」に結集しよう。

全軍勇牧港支部ニエス 1975.9.5 教宣部

「基地再編、首切り、IHA、是年75確定、旧才四種大価ケロム、不告知分等々」
 「諸要求実現目指し「9.9」ストライク断固貫徹!!」

牧港支部に結集する全ての組合員の皆さん!! 来る「9.9ストライキ」は上記タイトルの諸課題を実現すべく決行されますが、支部の斗争取り組みは才26回定期大会で大価ケロム問題があった為には必ずしも万全ではありません。いま新執行部が先頭になり、各職場の査検を兼ねての斗争構築が進められて居りますが、いま一度、各組合の奮闘を心から訴えます。今斗争に関する決定事項は次の通りです(9/1本部中執 中斗9/3 支部執行委)

9.9スト取り組みについて

1. スト突入大会
 日時--9月8日(月) 午後5時
 場所--城岡ゲイト前広場
2. ピケ配置と戦術
 日時--9月9日(火) 午前6時~正午
 配置--VFW(警) 仲西(陸)
 ヤフソ(ミ) 城岡(牧) 港川(ス)
 除外--商防隊 国際ハス、ハウスド
3. スト総括大会
 日時--9月9日(火) 午後2時
 場所--城岡ゲイト前広場
 テモ--仲西ゲイトまで
4. 支部の行動日程
 チラシ--9/4 9/5 9/8 (取場)
 マイク--9/5 9/8 (早退ゲイト前)
 立看--9/5 (全ゲイト)

支部精鋭フル回転中!!

全ての組合員の皆さん!! 支部は去る「是大」以後、直面している「9.9スト取組み」を中心とする「大価ケロム問題」「宮城告知分問題」支部の集団農営の具体化等々を全力を挙げて頑張っている。去った9月2日には、三役会議、そして9月3日には執行委員会とそれぞれ才1回の会議が招集されて居ります。そして「各専門部配置」と「分會制当」「連絡体制」等々の支部活動の基盤整備がなされて居ります。各専門部長は次の通りです!!

婦人部	青年部	調査部	離村部	文化部	労金部	教宣部	租務部	総務部	専門部
未走	水島満久	峰沢盛徳	楠隆博	長嶺竹苗	遠坂名朝志	仲田豊和	福隆博	満元武成	部長
		長徳忠尚		大嶺泰	全執行委	三役	高南泉	宮城定	部員

※全ての組合員は「9月9日(火)」「城岡ゲイト」午前6時結集(個LANMO分会は独自)

151



沖縄市職労速報

No. 号

沖縄市仲赤橋274

沖縄市職労速報

教宣部 発

75年 7月 18日

行 動 日 報

塔えゆりめひかうび(イニヒ)火念怨 皇太子叫弾討論集会

きゆう5時・老人センターホール・地区労主催

県民の怒りのうず巻く中、皇太子が来沖しました。

私たちはきのうの早朝、反対集会をもち、彼が来沖のもつ政治的たくらみを見極め、一層自民党政権打倒、労働者政府へ向けて闘いを強めることを確認いたしました。

皇太子は故力によって作られた歓迎陣に作られた「ほ、おみを見せつ、天皇のイケニエにこられたひめゆりの塔をひじめ、戦跡めぐりをした。そこで彼等のふぬけた態度を見よ！

遺族に対して「こころうこん、これからむがんばって下さい」としか云えないドラキエウラの息子の表情を見よ！

「天皇陛下のために死んだら靖国神社にまつてやる」と言まされて行った親兄弟の名において私たちに光熱が許されるだろうか。再びあのような悪夢を再現しようとしている自民党、独占資本の政治委員会を打ち倒して永遠の平和をつくらない限り死んで行った家族の霊は浮はれない。討論集会への積極的参加を！」

これが宮国理事会と警察権力による謀略の実態だ!!

那覇警察署は組合・闘争破壊を策し、不当逮捕した3名の仲間を即時釈放せよ!

警察権力の労働争議に対する不当介入を許さず、那覇署、本村浩一理事一体となった

高橋利雄(沖教組中央執行委、私学支部書記長)
川満秀昭(嘉数女子学園分会長)
宮城孝雄(嘉数女子学園分會書記長)ら役員の狙い打ち逮捕を糾弾し、即時釈放をかちとろう!

全ての県民のみならず!

沖教組私学支部嘉数女子学園分會は、昨年十二月以来今日まで、宮国理事会による八ヶ月にわたる賃金不払い攻撃で生活が完全に破壊される中、父母、学生、生徒、同窓生と共闘し、今、力強い闘いを展開しています。

社会的糾弾をうけ、追いつめられた宮国理事長が本土逃亡するやいなや、宮国理事会との結託を更に深めた那覇署警察権力は、組合破壊、闘争切りくずしを目的に、八月十三日午後、不当にも三名の役員を狙い打ちに逮捕するという悪質な弾圧の暴挙をなしてきました。

私達は、この恐るべき事態の真相と経過とその不当性を明らかにし、怒りをもって訴えていきたいと思ひます。八月十三日午後、組合員の権利剝奪と学園混乱をよそに、問題解決の姿勢の一片もない本村浩一常任理事が、これまでの組合弾圧の謀議の場所である大地開発に現われた。

私達は、一日も早い学園の正常化を願って「即時団交に応じて、問題の早期解決を図るよう」に要求しました。ところが、本村浩一常任理事は「私に責任はない……」と問題解決に全く誠意のない責任逃れの発言をしたのです。その段階で多くの市民も、その無責任な発言を見守っていたが、そこに那覇署警察権力が押しかけ「通交妨害だから場所を移すように」と指示があり、私たちはその指示によつて場所を牧志ウガンに移し、本村浩一常任理事との話し合いを続けました。

私たちのこのような正当な行動に対して、那覇署警察は、実に一〇〇名余の制、私服刑事を導入して、いきなりわれわれを取り囲み「これ以上続けると不法監禁になる」といつつ、カメラで組合員の写真を撮り、不当な弾圧介入を行なってきたのです。

私たちは、やむを得ず、本村浩一常任理事との話し合いを打ち切り、彼を帰したのです。このような那覇署警察権力による異常なまでの弾圧体制のもとでは、話し合いは出来ないと判断した組合員は、解散し帰ろうとしたのです。

ところが那覇署は、出口に立ちふさがり、われわれの帰りを阻止し、一方では本村常任理事と謀議をたくらむや、いきなり組合員におそいかかってきたのです。そして彼ら警察権力は、女子組合員が多いのにも容赦せず頭髪を引きずりなぐる、けるのあらんかぎりの暴行を加えたあげく三名の役員を狙い打ちに不当逮捕したのです。

逮捕されたのは、高橋利雄(沖教組中央執行委・私学支部書記長)川満秀昭(嘉数女子学園分会長)宮城孝雄(女子学園分會書記長)の三名である。

宮国理事会と結託した那覇署警察権力によるこの怒るべき暴力行為と不当逮捕の実態を見守っていた数十名の市民からは警察権力に対する激しい怒りがうずまき、同時に組合に対して暖かい激励が寄せられたのである。

全ての県民の皆さん!

なぜ、一体、宮国理事会と結託した那覇署警察権力は、このように役員を狙い打ちにした不当逮捕の弾圧を強行するのでしょうか。

まず、那覇署警察権力との結託は、昨年十二月二十七日の時点から形成されました。団交再開と賃金の即時支給を要求する組合側に対し、そのときはじめて私服刑事、機動隊を導入し弾圧しています。

それ以降、ストライキのときは、毎日私服刑事をかりこませ、弾圧のための状況を調査していること、更に組合側のステッカーの写真をとることまで私服刑事が行っています。更に三月九日の入試強行を私服刑事二十数名、三〇〇名余の機動隊導入をもって弾圧したこと。三月末から理事会が姿をくらませて以降、組合側の団交再開のための抗議行動に対してわずか二、三分で私服刑事十数名がかけつけ弾圧しています。

そして更に、五月二日には、市内若松にある稲福盛明法律事務所において、団体交渉の要求をした組合に対して、那覇署警察は暴力団と結託し、組合員を暴力的にけちらしながら、宮国理事長を逃亡させた事実があります。

しかし、このような弾圧にひるむことなく、私たちは五月二十一日、嘉数女子学園の父母の会、同窓会、短大一部、二部学生、高校生、分會で構成する嘉数女子学園の民主化をかちとる共闘会議を結成したのです。

そして、六月二十七日には沖教組と、共闘会議主催で、嘉数女子学園の民主化をかちとる総決起大会を、七〇〇名余の大結集で圧倒的に成功させてきました。このことにより、嘉数女子学園の闘いは、文字通り沖教組の闘いとして位置づけられ、更には県民的な闘いへと切り拓かれたのである。そこで追いつめられた理事会は、那覇署警察権力との結託を更に深め、闘争破壊を目的とした逮捕による刑事弾圧を謀議し、宮国理事長自身は本土へ逃亡したのです。

そして八月十三日の那覇署警察権力と、木村常任理事の行動は、組合が団交要求にかけつけたことを絶好の機会としてとらえての、かねてから計画した闘争破壊の謀議の一環であったのである。

従って、これは明らかに当初から役員を狙い打ちに逮捕し、闘いを切りくずし、組合を破壊するために仕組まれた那覇署警察の計画的な弾圧であります。まさに恐るべきことです。

全ての県民の皆さん!

このように那覇署警察権力の暴挙を許さず、不当にもデッチ上げに逮捕された仲間の即時釈放をかちとるために共に起ち上ることを心から訴えます。

一九七五年八月十四日

沖教組私学支部

嘉数女子学園の民主化と学園理事長の
退陳を要求する決議案

嘉数女子学園は、学園理事長のハカ目におよぶ誠意の無い無責任な外交拒否のよって、問題解決への進展が遅らされ深刻な事態にたたりつつある。

学園理事長は、この間組合の外交要求に応じるところか、一切の資金不払い、一方的な労働協約の破棄、告訴・解雇を通告し、はたして暴力団を雇って組合員に様々なりやからせ脅迫を行なつてきた。

裁判所の調停案に対しては受り入れなから、一方的にこれをホゴらし、学園を混乱におと入れ、たまたま現在本土に飛び立ちつつある。しかも、外交を要求する組合員を警察権力をめぐりて弾圧し、役員を逮捕せしめたり、暴力団を動かしている。

このような理事長の反動的姿勢による外交拒否のよって、労働間の不信を拡大させているのである。このうに理事長の態度に対し、父兄・学生・生徒・同窓会の学園関係者がこぞ、糾弾の声をあげ、学園の民主化に決起している。

教育は何より信頼関係を基とするべきである。したがつて、このことをめざして学園の民主化はありえない。いかに「責任」を不信を醸成し、今日なお、さう反動的姿勢を改めようとなない学園理事長のもとでは、もはや信頼の回復は不可能と断じざるを得ず、中教組に結集する一万余の教育労働者は、ここに、かたがて理事長の退陳を強く要求する。

また、理事会は責任のかれに終始することなく、民主的学園建設のため誠心誠意をこころめてやることを要求する。

一九七五年八月十六日(土)

ハカ警察権力に、この嘉数女子学園斗争弾圧組合破壊糾弾不当逮捕抗議集会

嘉数女子学園理事長
退陳を要求する決議案

全ての斗つ沖繩人勞働者ば
沖繩一本土上其斗の旗の下に決起せ

皇太子マキクト(13日本ナショ) 粉砕せ

平和友好下に舞臺の全ての沖繩人勞働者、學生、大和 自衛隊、生長の家、自衛隊、日界を動員し、日の丸の旗

わな海洋博物館、天皇 皇太子沖繩上陸阻止「沖繩一本 けたのである。オニ弾は、沖繩戦におりて日本軍の沖繩人屋
土」共闘「百十七日の皇太子沖繩上陸阻止戦(オニ弾)の 後の地、南部の姫百合の塔を炸裂しました。わな戦士は十数
原爆の下の海洋博物館「皇太子沖繩上陸阻止の斗」を最長 日前から爆撃入り、今日、この時を持ち上げていた。日本軍
闘に力をつくしてまいりました。

明治の琉球処分以来、夫皇朝を中心とした日本國家の 亡最後は遊樂場がある自然環境ありななり、日本軍上邪魔だとい
内に闘争のまわ、由緒強化の化、日帝の尖兵として、朝鮮 わわわ、戦士においさうわ、米軍にうたけし榴弾を投じられ
中國軍々の入りに諸國人の侵略を余儀なくされ、まじりました。 火炎放射を焚かれて死んだ沖繩人の白骨を樹に抱き隣りてな
琉球人、沖繩人といふことで日本に差別抑圧されるゆえに けまじり、一発三発三発四発を火交ごしを投げ、又ニチヤンを
天皇の御子たらんことを最も強く日本人と信じていた。 及びウザして攻撃する我戦士の前に腰を抜かしたマキクトは
皇朝軍の十六師団中、沖繩人の部隊が最強だった事実 卑劣にもミナコをとりすて逃げる。ミナコは機動隊に抱きか

海軍三勇士の史実多数名の沖繩人を占められた事実を認め ながら出る。今こそ思い知れ沖繩人の無念の怒りを
よった、沖繩人は歴史の上、天皇朝に屈辱をこらうとて身を 我戦士は「戦犯天皇、皇太子上陸阻止、海洋博物館、沖
した。今、新たに、皇野崎・皇甲・峰原派、日本共産党の 陣野放をよけが、皇宮警察官との肉戦の場内に叩き落してセ
裏切りにする。天皇朝への屈辱を再びこらうとて、まじりました。 へ逃したのである。

しかして入る沖繩人々、シウヤウヤ者な屈辱をこらわけて 全ての勞働者、學生、わな、沖繩「本土」共闘は、一七の
はあじました。わな沖繩戦が同盟を失墜した。「海洋博物 二つの斗の地平を築き上げ、天皇の戦争責任を問はず、皇
朝」天皇、皇太子沖繩上陸阻止「本土」共闘は、七 太子沖繩再上陸阻止の斗に沖繩人を最長戦に半
月十七日の「日帝のオニ弾」の下の一面を押し海洋博 っつてやま。全ての勞働者、學生の皆々、わな、
下出のため、沖繩人を天皇朝に絶滅させようと、米軍日機群 皇野崎から、皇甲・峰原一味を逐放し、反天皇、
反軍国体制を強固に打ち固めんと、沖繩に機動隊四千五百 皇太子沖繩再上陸を史実阻止してやううてはあり
名に守りかて強行上陸した皇太子に対し、赤瀬と姫百合の ましたんか。

た。
マキコ一弾。白銀病院に機銃入院して、マキセトとミナ
コは来るのを待ちかまえていたわな戦士は、敢然とバッド
を撃つて、天皇主義者、皇長に攻撃をかけたマキト、ミナ
コは頭上に狙いをすまして、火をピン、石、鉄パイプを投
げつけ、オニマキとミナコを手に皇太子マキクトを見が
つて攻撃していきまじりました。

海洋博物館「戦犯天皇糾弾」
皇太子沖繩再上陸を史実阻止
沖繩解放！
反「日」暴動に決起せよ

海洋博物館、天皇、皇太子沖繩上陸阻止
那覇東郵便局本書部二。四六号

沖繩本土共闘

南北朝鮮の分断固定化―日帝―朴に成る

韓国慰靈塔建立阻止

全ての労働者・農漁民・学生の皆様へ、

ミニレジンジャ米国防長官の訪韓、米白晝勅は、「危機」を煽動する朴と日帝、米商の共同した侵略反革命体制を更に強固なものとして、打ち固めるとともに、それに沿った沖繩基地の重要性がますます鮮明に浮き彫りにされています。と同時に、この策動と軌を一にして、あの悪名高い摩文仁ヶ丘に、朴自望の「韓国慰靈塔」、大韓民国大統領朴正熙とした韓国慰靈塔の建立が、今日、韓国政府、在日韓国居留民団（民団）の代表ら約40名が参列して除幕式が行われんとしています。

置かれた屈辱的位置、そして南北を分断された朝鮮半島の現実。更には、去った三木―フォード会談によって、99年の「沖繩」返還」を取りひきたした日米共同声明を受けて再び、「韓国の安全は日本にとって緊要である」事が確認された様に、また、坂田防衛庁長官などが足しげく、来沖する様に、一層沖繩の基地の重要性が増し、日米韓の共同した軍事体制が、急速におし進められています。

私達は、昨5・19海洋博物館本部現地闘争以降、海洋博物館闘争の最前線に引き抜いてきましたが、その中で、海洋博物館が、9年5・15沖繩「返還」を経た収約環として、「基地とCIS・コンビナートと買着観光の島」へと沖繩から沖繩人を叩き出す起爆剤の何ものでもない事が、暴露されてきたと思います。更には、去った6月18日の「戦犯天皇糾弾」皇太子沖繩上陸阻止、日本軍の残虐行為を許す方

こうい、た状況の中で、しかも、韓国において、反朴反日救国闘争として、死を賭して闘い抜いている人民を、戒厳令の下に圧殺し続けている。朴自らが、日帝と手をたづなえて、死しても尚日本軍が占拠している、摩文仁ヶ丘に韓国慰靈塔の建立を策している事は、非常に危険な意図をもっているのです。即ち、この事を通して、日帝と朴の南北分断政策の固定化をほかり、とりわけ、日帝にとってはその基地に仕立て上げる事なのです。沖繩をますます基地に振りつけ、アジアへの侵略反革命への拠点とし、沖繩人を再び、侵略の尖兵に仕立て上げていくという策動なのです。その事は、戦前、^{日本}韓国主義者どもの「沖繩は長男、台湾は次男、朝鮮は三男」という差別に満ち満ちた発言を私達は決して忘れてはなりません。くしくも99年9月9日、関東大震災において、権力による流言蜚語のもとに、六千名以上の朝鮮人が虐殺され、沖繩人、中国人も含まれていた事を怒りをもって、思い喚ぶおぼろなない。

い、となる、摩文仁ヶ丘に対する糾弾を受けとめ、6月23日、日帝政府、「県」当局をはじめとした、右翼・天皇主義者による「日の丸慰靈祭」を告発し、糾弾する闘いをとり組んできました。そして、7月17日、復帰運動の中では絶えたくても、触れえなかつた、天皇制、天皇制イデオロギーとの闘いを、皇太子に対する直撃糾弾闘争として、突き出したのです。こうい、た一連の闘いの中で、私達は、

とりわけ、勝共連合が、反共宣伝をわめきちらし、KCIAが暗躍している中で、韓国で死を賭して闘い抜いている反朴反日救国闘争と連帯し、また「復帰」後、パイン・サトウキビ伐採に、労働者労働力として、しかもKCIAの監視の下、監視労働ともいうべき劣悪な労働条件で韓国労働者を導入している事、そして、今も尚、朝鮮人である事を抹殺され、名も知れず存在を隠蔽されている人達と連帯して、日帝―朴の策動を暴露し、粉碎してゆきましょう。

沖繩政府における、婦女子、赤子まで含めた沖繩人20万人余を虐殺していた、天皇の軍隊II日本軍による残虐行為を忘れもしないし、更には朝鮮「本国」から、強制的に慰安婦、抵抗夫、軍夫として連行された朝鮮人が、スパイ容疑をテック上げられ、虐殺されていた現実を見れば、死しても尚、皇軍II日本軍が摩文仁ヶ丘を占拠している事に對して、またそこに、^{日帝に由来}韓国慰靈塔が建立される事に対して、糾弾してゆかねばなりません。しかも戦後の沖繩の

海洋博物館、皇太子沖繩上陸阻止

海洋博物館、皇太子沖繩上陸阻止

沖繩「本土共闘」(呼びかけ) 連帯、沖繩研究 那珂東部徳島粉書 箱2046号 1975.9.3

9月3日、日帝―朴による韓国慰靈塔の建立阻止は、9月5日、日帝の支配一層強化する日韓定期国債会議粉中、9月3日、海洋博物館闘争、皇太子沖繩上陸阻止!

反権力・反弾圧 救援ニュース

那覇市東郵便局私書箱 2010
沖縄人民救援会

● 被告人全員の冒頭意見陳述も 東京でも取りまわそう

新島 謙三、藤原 孝三、吉野 隆一、

八月二十八日、裁判所へ控訴状提出の通知が来り、「ひびく」「白銀」の被告、田代士郎の第一回公判の日曜が近づいてきた。私ども、反権力・反弾圧・沖縄人民救援会は、田代士郎の控訴を支援し、裁判官の専横、皇太子降御止の共同戦線多岐の人的結集と、第一回公判への参加を促すための「ひびく」「白銀」の被告の弁護を支援する。八月二十八日、東京の裁判所へ控訴状提出の通知が来り、「ひびく」「白銀」の被告、田代士郎の第一回公判の日曜が近づいてきた。私ども、反権力・反弾圧・沖縄人民救援会は、田代士郎の控訴を支援し、裁判官の専横、皇太子降御止の共同戦線多岐の人的結集と、第一回公判への参加を促すための「ひびく」「白銀」の被告の弁護を支援する。

公判日程

- 八月二十八日 午前10時 東京控訴院
- 九月一日 午前10時 東京控訴院
- ひびくりーの戦士

・ 田代士郎の弁護支援会 集まりたい

新島 謙三、藤原 孝三、吉野 隆一、

八月二十八日、裁判所へ控訴状提出の通知が来り、「ひびく」「白銀」の被告、田代士郎の第一回公判の日曜が近づいてきた。私ども、反権力・反弾圧・沖縄人民救援会は、田代士郎の控訴を支援し、裁判官の専横、皇太子降御止の共同戦線多岐の人的結集と、第一回公判への参加を促すための「ひびく」「白銀」の被告の弁護を支援する。八月二十八日、東京の裁判所へ控訴状提出の通知が来り、「ひびく」「白銀」の被告、田代士郎の第一回公判の日曜が近づいてきた。私ども、反権力・反弾圧・沖縄人民救援会は、田代士郎の控訴を支援し、裁判官の専横、皇太子降御止の共同戦線多岐の人的結集と、第一回公判への参加を促すための「ひびく」「白銀」の被告の弁護を支援する。

7.17皇太子降御止陸上阻止炎上事件の第一回公判日決定!

9.29(日) - 10.6(土)の初公判に全ての皆さんが結集を!

新島 謙三、藤原 孝三、吉野 隆一、

「皇太子沖繩上陸阻止・戦犯天皇糾弾斗争を支持する会」に結集しよう!

「支持する会」

呼びかけ人

大城 昌夫 (石油基地)
松堂 務 (会社員)
渡口 精得 (会社員)
池 永 倫明 (牧師)
島 田 善次 (牧師)
富村 賀吉
富村 春子

賛同者

中里 友豪 (真和志高教諭)

すべての沖繩のみなさん

私達は、7月17日、ひめゆりの塔、糸満白銀病院前において、皇太子沖繩上陸に対して、生命をかけて糾弾決起した沖繩解放同盟(準)の知念君、金城君、そして彼らに連帯し、共に決起した「本土」青年、小林君、川野君の闘いを支持し、支援する運動を軸に、広範な「反天皇制(イデオロギー)」の闘いを展開すべく「皇太子沖繩上陸阻止・戦犯天皇糾弾斗争を支持する会」への結集を呼びかけます。天皇制(イデオロギー)こそ、一八七九年明治政府による「琉球処分」以降、沖繩人をしばりあげ、日本帝国主義のアジア侵略の尖兵として、かり出していった元凶でありました。

一六〇九年以来の薩摩の差別、収奪支配を受けついで明治政府は、さらに徹底した差別政策に基づく植民地主義的沖繩支配を貫徹し、沖繩人を最も強固な天皇の赤子としてきたえあげていったのです。

そしてそのいきつく先が沖繩戦でした。ただ天皇制を守るため、天皇の国を守るため、捨石とされ、二十万の沖繩人が阿鼻叫喚の地獄の中、おびただしい血を流して死んでいったのです。しかもただ単にアメリカ軍によって殺りくされただけでなく、日本軍が自らを守るために、また、ス

パイ容疑で多くの沖繩人を殺傷したのです。まさに沖繩戦こそ、日本の植民地主義的沖繩支配の頂点であり、沖繩にとっては、屈服し、敗北しつづけた沖繩の歴史の当然の帰結であったのではないのでしょうか。

そして、一九五二年、サンフランシスコ条約によって切り捨てられ、七二年、屈辱の「反還」。

そして今、日帝の侵略の野望の完成をめざし、新たな同化と屈服を強いる沖繩国際海洋博。

七月十七日、その名誉総裁として、恥も外聞もなく沖繩に乗りこんできた皇太子アキヒト・ミチコ。

天皇制の下に、抑圧され、虐殺されてきた膨大な朝鮮人、中国人、部落民、沖繩人の血でもって塗り固められたその一家を代表し、真妙な顔で、ひめゆりの塔にぬかづいた皇太子、アキヒト・ミチコ、に対し、七、一七の糾弾決起は、まさしく正義の闘いとして斗われたのです。沖繩の深部に激しい衝撃と共感の嵐をまきおこしたこの闘いこそ、沖繩の意志だったのではないのでしょうか。

数百年にわたる「大和」の差別・抑圧収奪の沖繩支配のそのくびきをたち切り、断固とした沖繩解放斗争の宣言を發したのではなかったでしょうか。

すべての沖繩のみなさん。
私達は、彼らのこの闘いの意義を正しく継承し、天皇制の打倒なくして、沖繩の解放はなく、すべての抑圧された人民との連帯の道はないことを、確認し、確信をもって、「皇太子沖繩上陸阻止・戦犯天皇糾弾斗争を支持する会」に結集されんことを訴えます。

補足

本会は、会員に対する集会日時連絡や、裁判ニュース、会報等の配布の必要上、会員の住所、氏名等の明記を希望しますが、会員個人の都合上、やむを得ない場合は匿名でも結構です。

会則(案)

- 一、本会は、七・一七ひめゆり・白銀決死糾弾闘争を断固支持する。
- 一、本会への加入は、個人加入を原則とし、会員からは会費として一口、一ヶ月一、〇〇〇円を徴収する。
- 一、事務局を那覇市内に設置し、事務局をおく。
- 一、事務局は定期的に「機関紙・ニュース」を発行し、支援と情宣活動を担う。

連絡先 那覇東郵便局二〇四六号(私書箱) 沖繩解放研究会

— 沖繩通信 第6号 —

発行 沖繩通信編集委員会

1975年9月17日

頒価 500円

連絡 那覇市東野郵便局私書箱 2035号